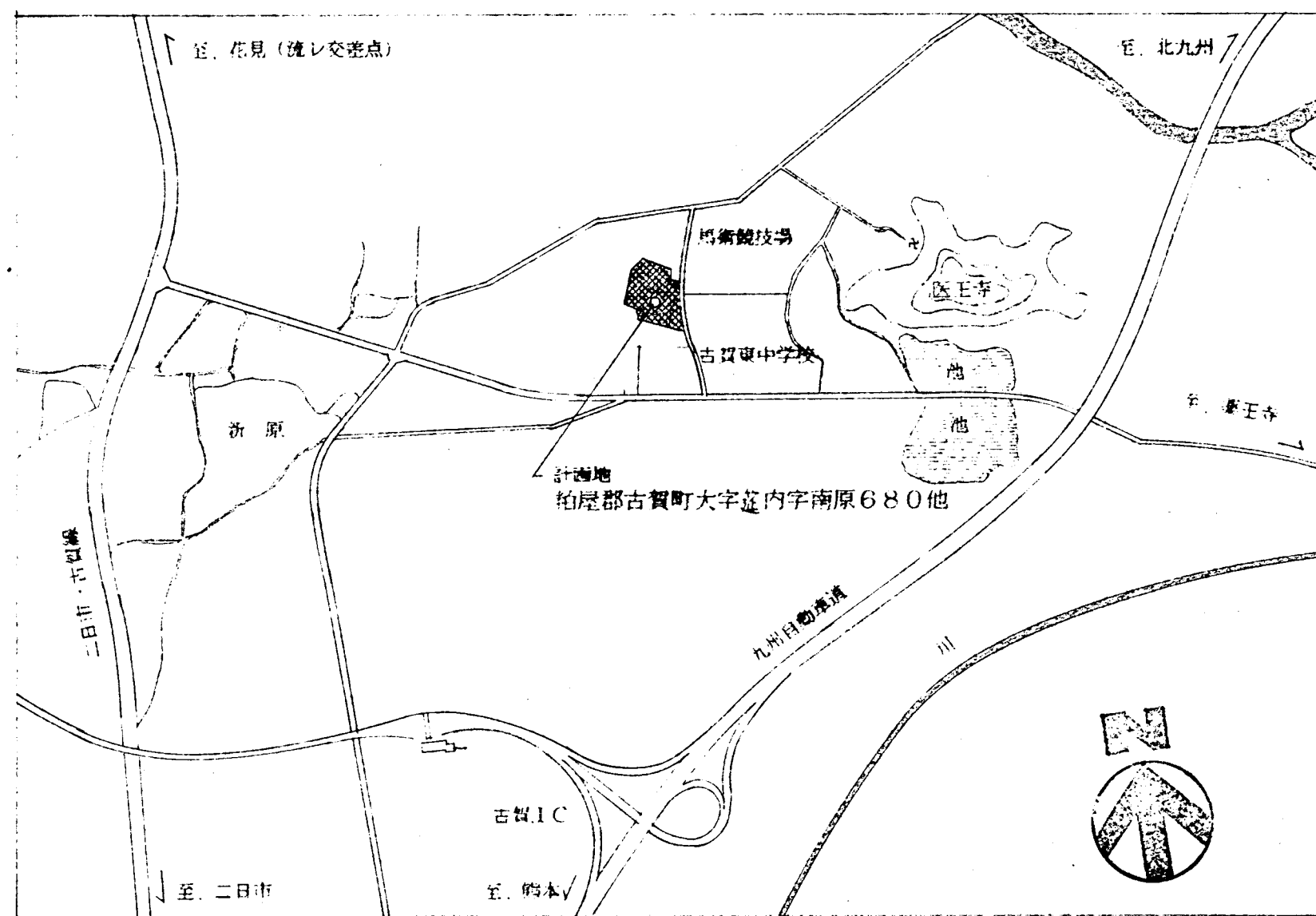
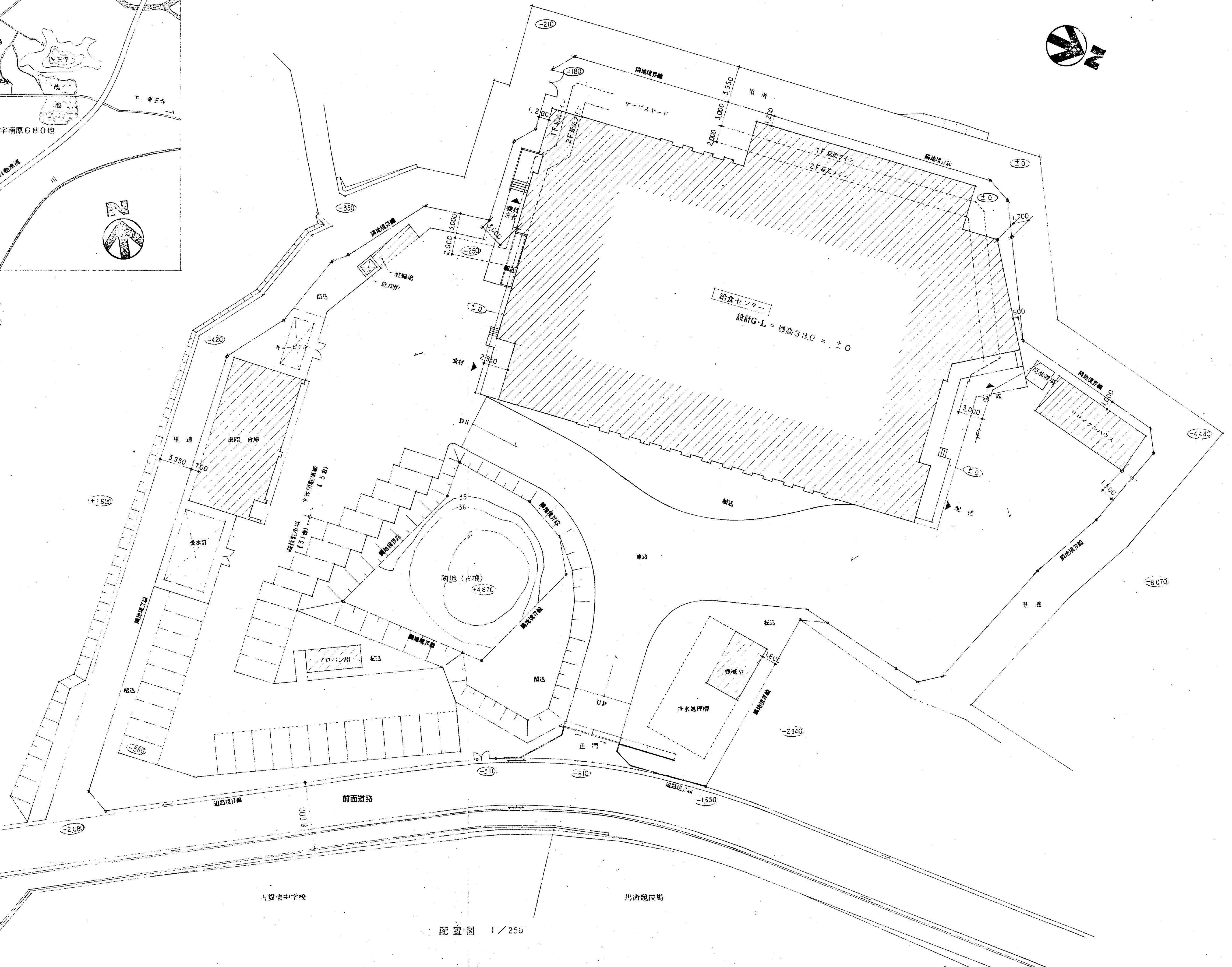


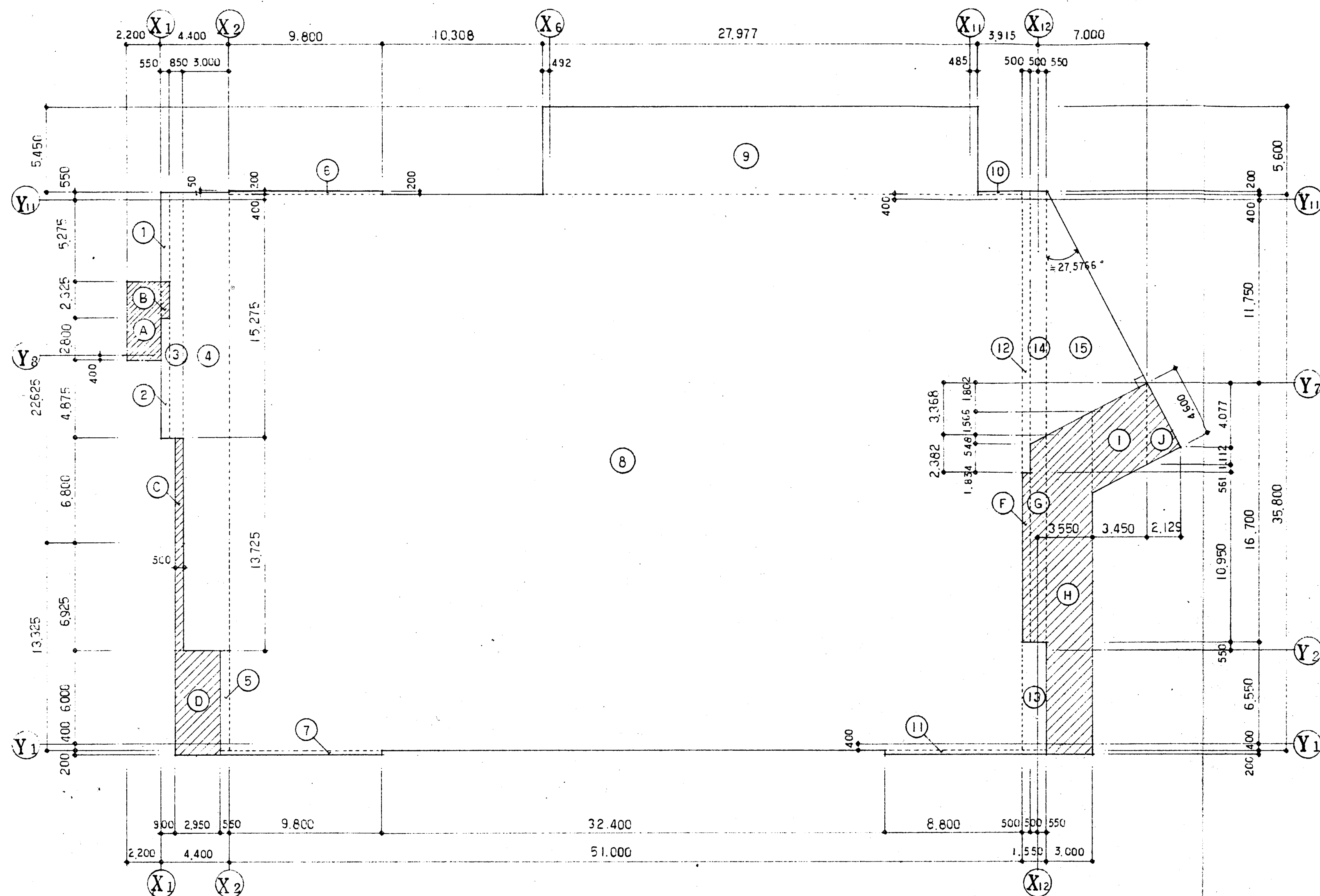
仮 設 工 事		内 装 工 事	
敷 地 測 量	係員立会いにより、境界確定の上用地との境界部分及び敷地内の高低を含めた測量図を作成のこと。	床 材	ビニル系床タイル 長尺塩ビシート 張りマテ等 同商品 合成樹脂シート ゴムタイル フローリング 永年保証 シューベア等 725 同商品 タタミ敷き ● A 種 (1 級品) ● B 種 (2 級品) 指定なき場合は B 種 カーペット 永年保証 725 同商品 ジュエタン敷込
仮 囲 い	◎成形鋼板 H=3,000 以上、◎外郭OP 造 ● 瓦詰めつき荒地のまま ● そ の 他	巾 木	ソフト巾木 別商品 硬質塩ビ巾木
監督事務所	鉄骨プレハブ造 20 ㎡、共通仕様書による。 その他	壁	ビニルクロス サンドペーパー 700 同商品 クロス 壁地貼 化粧合板 壁木張付
土工事・コンクリート工事・鉄筋工事及び鉄骨工事 別紙構造特記仕様書による。		天井 材	岩綿吸音板 成形岩綿吸音板 化粧石膏ボード ガラスウールクロスマツト
ブロック及びALCパネル工事		その他	セルローズファイバー 特殊シート グラスウールt/K 化粧やみね、フックストンミラモネ同商品 ワイヤレ線（インフラジス品）
補強コンクリート ブロック積み	ブロックは、JIS規格品とする。 普通ブロック ● A 種 (40kg/1個以上) 厚さ： ● B 種 (60 同 上) ● C 種 (80 同 上) 原則として横壁は A 種、耐力壁は C 種とする。 防水ブロック 横壁の主要支点間距離は、厚 100 の場合 2,500、厚 150 の場合 3,500 以下となるよう適切な支持がりよう及び支持柱を設ける。(例：覆上げ高さの限度厚 100-12 段、厚 150-17 段) 指定メーカー： 厚さ ● 75 ● 80 ● 100 ● 120 ● 125 ● 150 ● 175 ● 180 ● 200 指定メーカー：	建 具 工 事	
プレキャスト コンクリート	厚さ ● 75 ● 80 ● 100 ● 120 ● 125 ● 150 ● 175 ● 180 ● 200 指定メーカー：	(仕様は別紙建具工事特記仕様書及び共通仕様書による)	
ALCパネル	厚さ ● 75 ● 80 ● 100 ● 120 ● 125 ● 150 ● 175 ● 180 ● 200 指定メーカー：	アルミニウム 建 具 ステンレス建具 鋼 製 建 具 鋼製軽建具 木 製 建 具 シャッター 鋼製間仕切 アルミ間仕切 スライドウォール アコーディオン ボア 自 動 扉 建 具 金 物 ガ ラ ス	
アスファルト 防 水	種類 屋根保護防水層（歩行用） 屋根露出防水層（非歩行用） 屋内防水層 材料 アスファルト ● 1 種 ● 2 種 ● 3 種 ● 4 種 (指定なき場合 3 種) アスファルトルーフィング ● 35kg 品 (指定なき場合 35kg 品) 砂付ルーフィング ● 40 kg 品 ● 原紙が無機質のルーフィング 防水工事用断熱材 ● 硬質ポリスチレンフォーム材 ● 硬質ウレタンフォーム材 露出防水表面仕上材料： 防水層押さえ 押さえコンクリート ● 普通コンクリート ● 軽集コンクリート 押さえコンクリート内断熱金網 ● 3.2φ-100mm 間隔の正方形金網 ● 6.2φ-100mm 同 上 ● 無し 伸縮目地 屋上の防水層押さえコンクリートには縦横 3 mm 間隔以内に、又、周辺部は立上りから 600mm 内外の位置に縦 2.5mm の伸縮目地を設ける。 目地材： ● アスファルト注入 ● アスファルト成形目地板 ● タルフレタン アスファルト防水工事は専門業者の責任施工とし、指定メーカー及び専門業者は下記による。 施工完了後、必要により、水張り試験を行う。 責任施工保障期間 年	装 装 工 事	
防 水 工 事		業地こしらえ コンクリート・モルタル・プラスター及びボード類の業地こしらえ ● A 種 (上等) ● B 種 (普通) 指定なき場合は B 種 鉄面の業地こしらえ ● A 種 (化学処理による) ● B 種 (プラスト法による) ● C 種 (電動工具・ワイヤブラシなどによる) 指定なき場合は C 種 各種塗料 ざび止めペイント ● 船丹ざび止め (船丹色) ● 亜酸化鉛ざび止め (さび色) ● 塩素性クロム酸鉛ざび止め ● ジアノミド鉛ざび止め (さび色) ● 船丹ジクロレートざび止め 2 種 (船丹色又はさび色) ● 一般用ざび止め (さび色) ● ジンクロレートざび止め 2 種 (黄色・赤さび色) 油性顔合ペイント (OP) 合成樹脂顔合ペイント (SOP) 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP・AEP) 塩化ビニル樹脂エナメル塗り (VP) アクリル樹脂エナメル塗り (VP) フタル酸樹脂エナメル塗り (FP) クリヤツツカー塗り (CL) マステツツ塗材塗り ● A 種 (外部用) ● B 種 (内部用) ● C 種 (内外兼用) 防水エマルジョンペイントは断熱材・サッシ・入浴用設備品 (1 次・2 次・3 次塗装工事) 見本 塗装工種見本及び色見本を提出し、係員の承認を得る。 指定メーカー：同商品	
合成分子 ルーフィング 防水		ルーフドレン と い	
遮断防水		● 鋼鉄製 ● ステンレス製 指定メーカー： ◎ 配管用鋼管 ◎ 硬質塩化ビニル管 K 管内には使用しない 防露巻き 結露の恐れがある部分については必ず防露巻きを行い、見え端りは塗装仕上げを行う。	
土工事・コンクリート工事・鉄筋工事及び鉄骨工事 別紙構造特記仕様書による。		金 属 工 事	
シーリング		表面処理 アルミニウム表面処理の種類 ● 陽極酸化皮膜： ● 複合皮膜： ◎ 化学皮膜十塗装：ウレタン塗料 ステンレス表面仕上げの種類 ● ヘアライン仕上 鉄の亜鉛めっきの種類 ◎ A 種：溶融亜鉛めっき (どぶづけ) ● B 種：電気亜鉛めっき ● C 種：連続ラインによる溶融亜鉛めっき 亜鉛めっきの付着量及び皮膜厚さ： (指定なき場合 350g/㎡以上及び 13 μm 以上とする) 鉄の亜鉛めっきの検査 亜鉛めっき面の試験は係員の指示による。	
石工		軽集鉄骨天井 下地 軽集鉄骨壁 下地 手すり、クラ フツ、梯子、 パネル等製作 金物 金 属 成 形 板 金 属 既 成 品 床ビーム用金 型金物	
タイル工事		左 官 工 事	
材 料		電 装 防 止 防 火 材 料 人 造 石 スリ、 現場テラゾ造 合成樹脂エマ ルジョン砂塗 吹付 塗層模様吹付	
工 法		コンクリートブロック面及び亀裂の生じやすい部分のモルタル塗り には亀裂防止として ● メタルラス ● を塗り込む。 ● 每段金網 6 φ75×75 屋内の壁および天井の仕上材は、断面基準法に基づく認定表示のあるものとする。ただし、吹付け仕上材は基材同等のものとする。 種類・仕上げ及び指定メーカー 種類及び指定メーカー セメント系 エマルジョン系 反応 エマルジョン系 反応 溶媒系 現場試験吹付 ● 有 ● 無 指定メーカー：	
材 料		木 工 事	
材 料		屋根及びとい工事	
材 料		長尺金属板 および波形石 綿スレート ぶき	
材 料		金属の種類・厚さ及び仕上げ ステンレス鋼板の寸法・形状・加工は JIS 規格に準拠 アルミニウム板の寸法・形状・加工は JIS 規格に準拠 金属屋根ぶき形式 ● 平ぶき (一文字ぶき) ◎ かむら棒ぶき ● 形板ぶき ● 折板ぶき ◎ 特殊ぶき (特殊工事) 指定メーカー及び専門業者：多量生産受発注 他工 (10 年保証) 特設表 波形石綿スレートの種類及び厚さ 指定メーカー：	



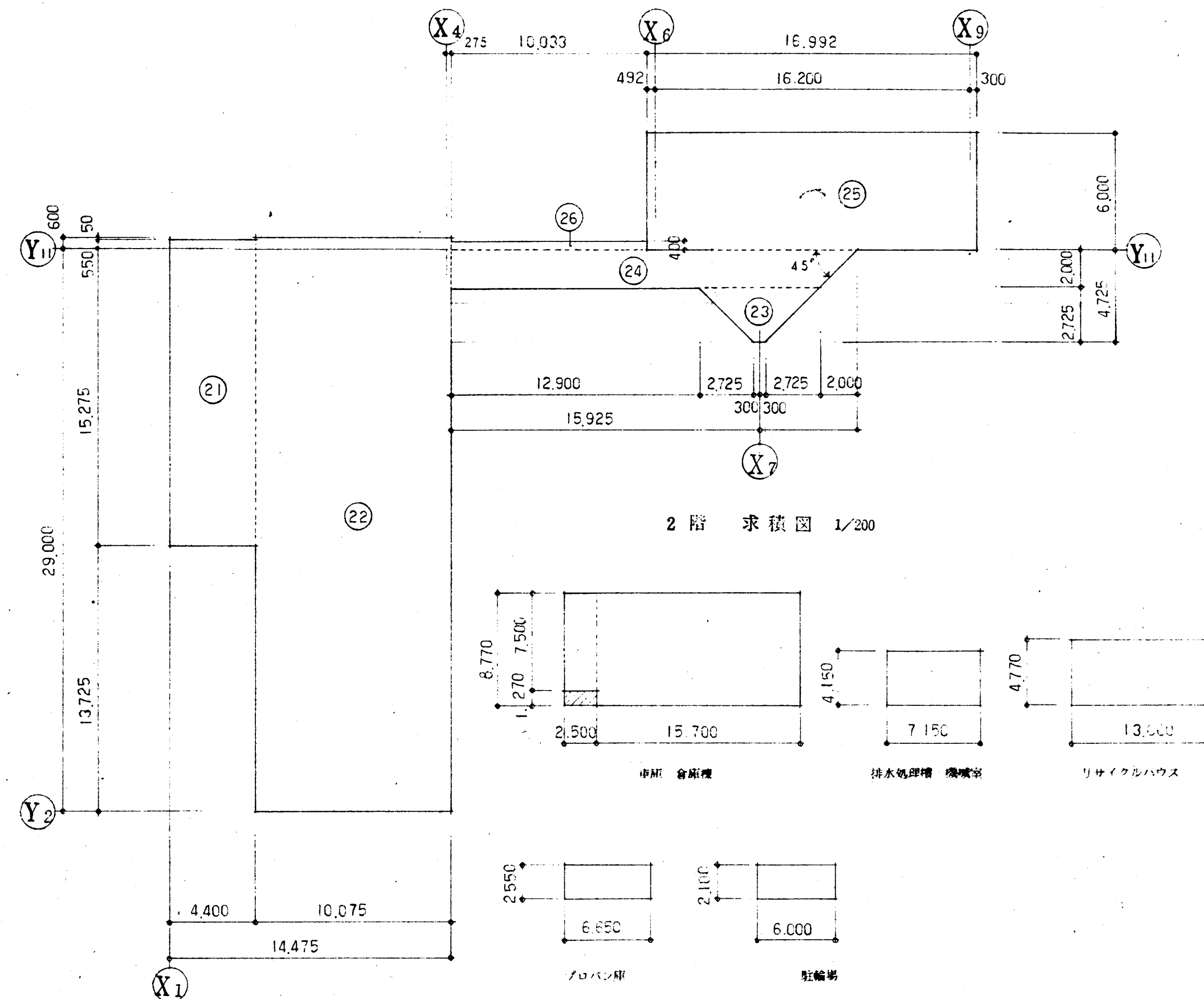
附近見取図 1/10,000



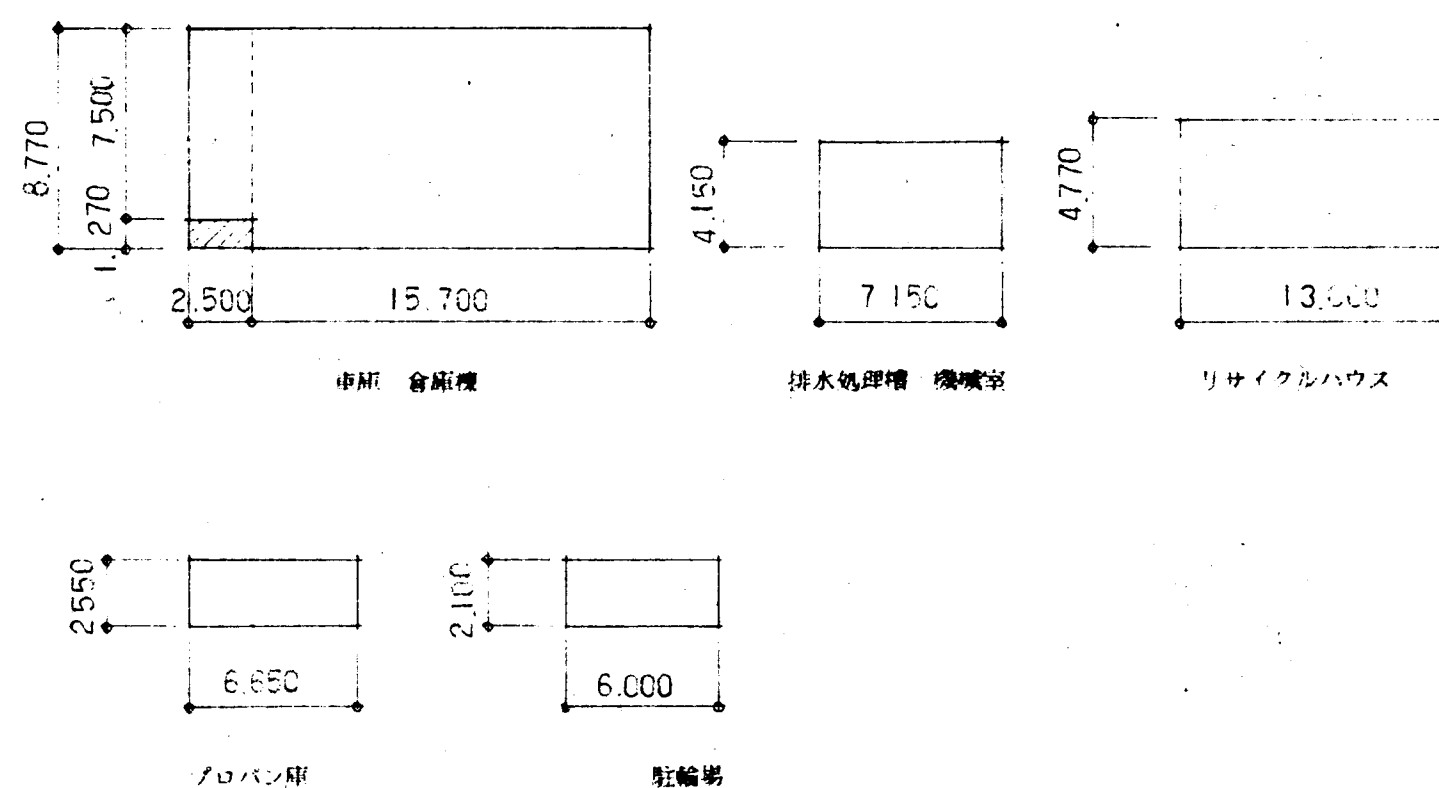
配置図 1/250



1階 求積図 1/200



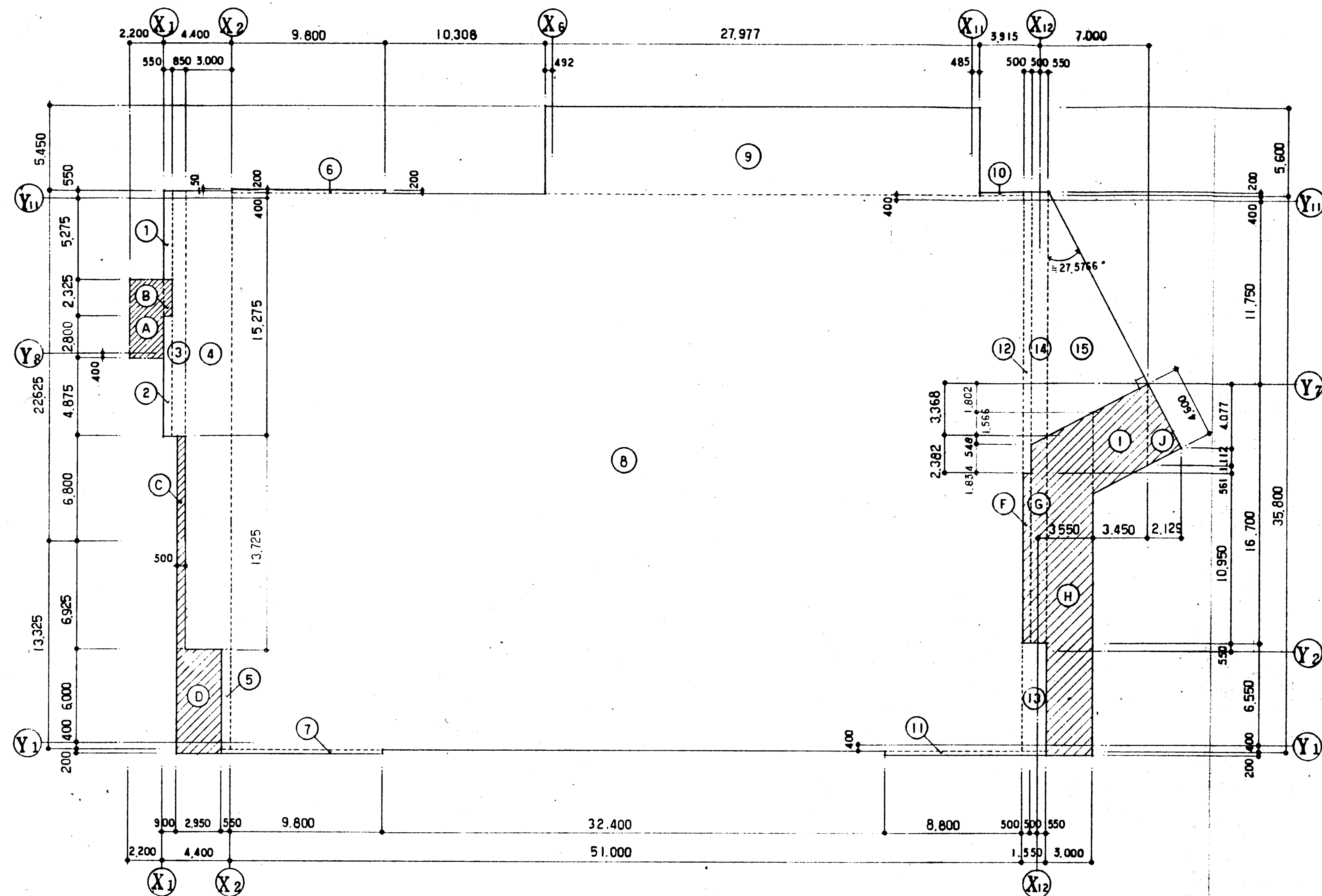
2階 求積図 1/200



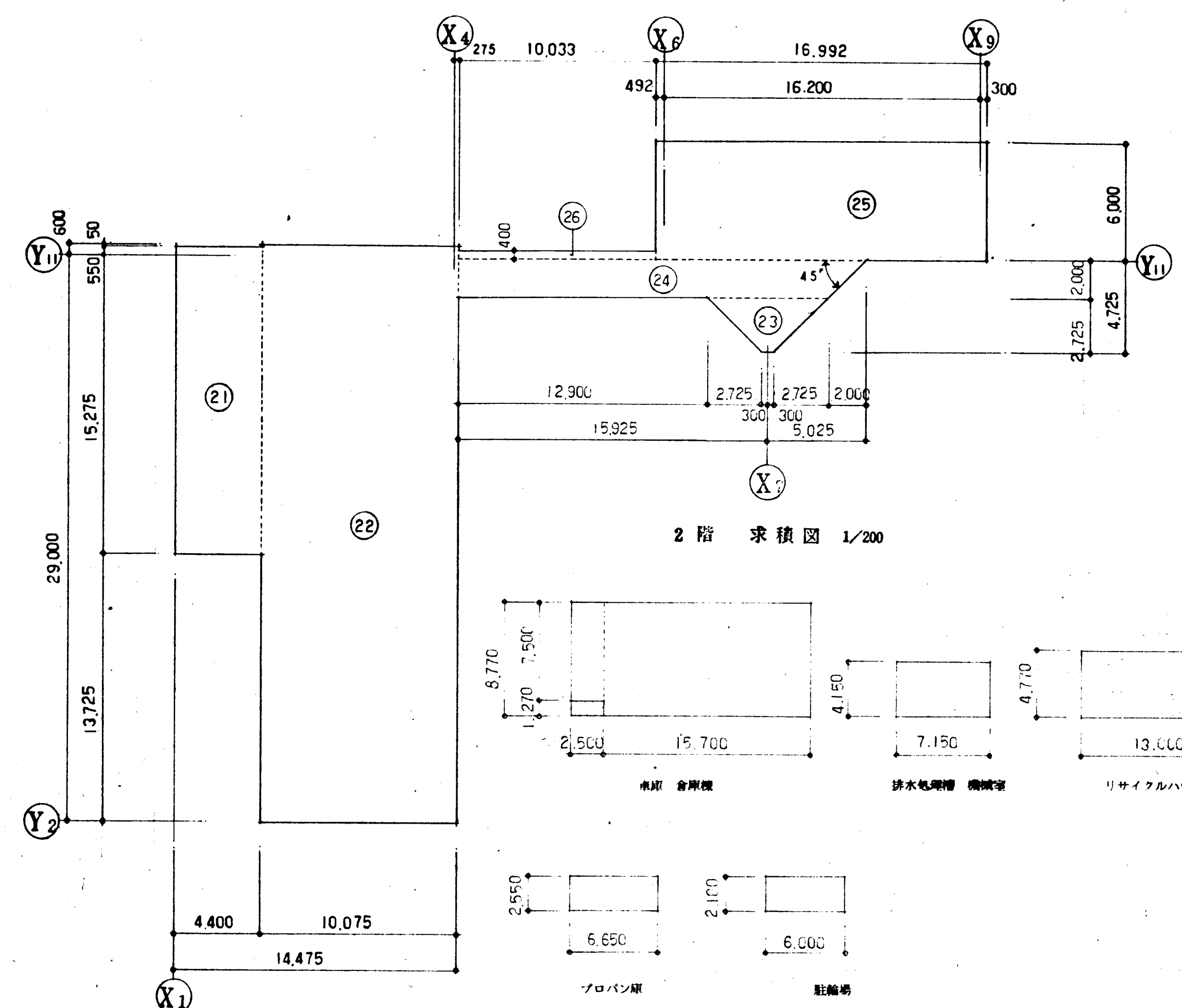
付属図 求積図 1/300

面積表

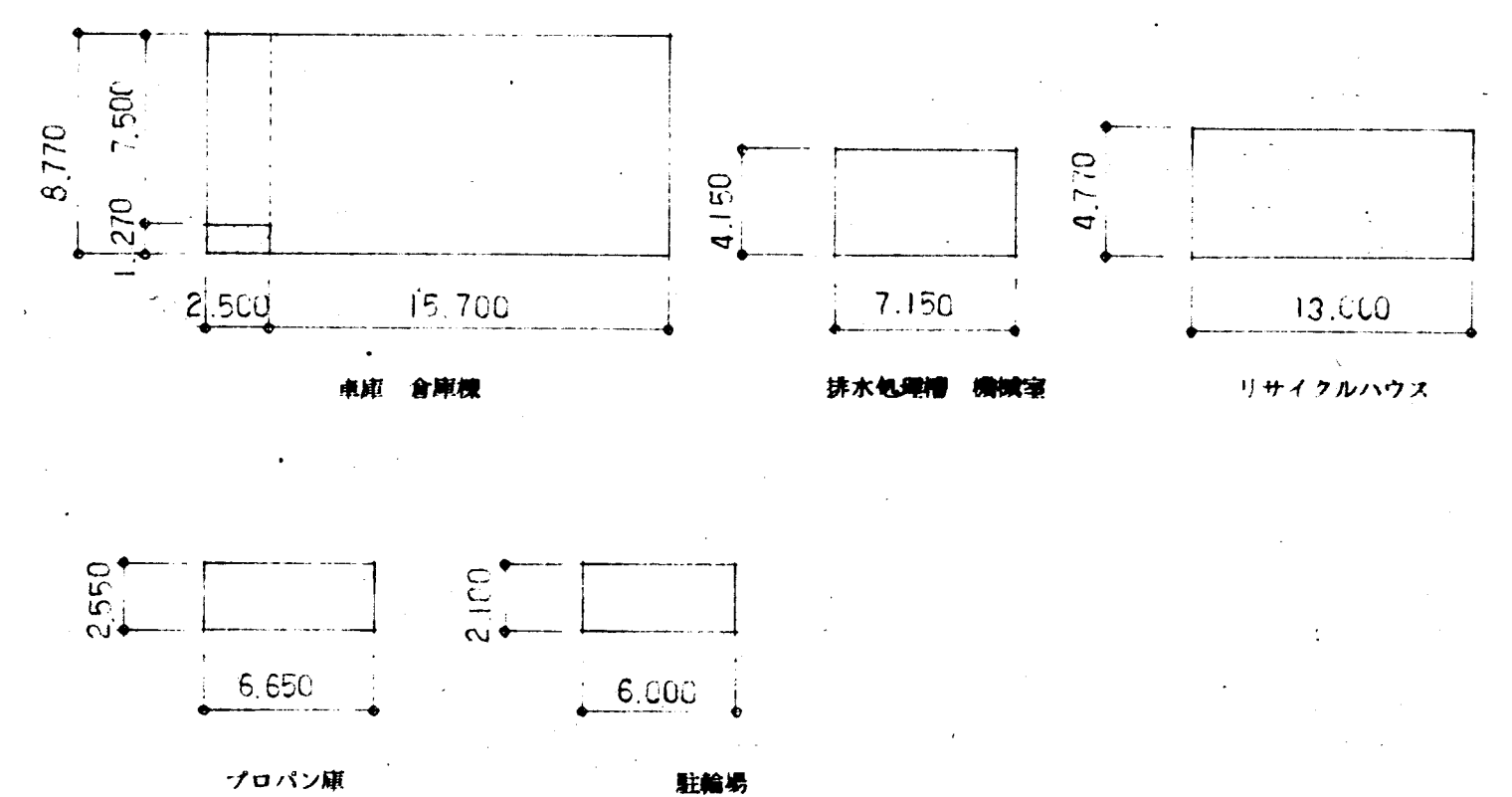
延床面積					2 階					建築面積									
A 給食センター											A 給食センター								
1 階	1	0.55	×	5.825	=	3.203	23	2.725	×	(2.725 + 0.6)	=	9.06	1階床面積 計		2322.23				
	2	0.55	×	7.675	=	4.221	24	2.0	×	(-18.95 + 20.95) / 2	=	39.9	①	2.2	×	5.125	=	11.27	
	3	0.65	×	15.825	=	13.451	25	16.992	×	6.0	=	101.952	②	0.55	×	2.325	=	1.27	
	4	3.0	×	29.55	=	88.65	26	10.033	×	0.4	=	4.013	計					2334.79	
	5	0.55	×	6.4	=	3.52	2 階 計					522.775							
	6	9.8	×	0.2	=	1.96	合 計					2645.0							
	7	10.35	×	0.2	=	2.07	B 中庫 倉庫棟					B 中庫 倉庫棟							
	8	51.0	×	35.8	=	1825.8		2.5	×	7.5	=	18.75	床面積					156.43	
	9	27.977	×	5.6	=	156.671		15.7	×	6.77	=	107.689	2.5	×	1.27	=	3.17		
	10	2.915	×	0.2	=	0.583	計					156.439	計					159.61	
	11	10.35	×	0.2	=	2.07	C 排水処理槽 機械室					C 排水処理槽 機械室							
	12	0.5	×	18.1	=	9.05							床面積に同じ					29.67	
	13	1.55	×	6.95	=	10.772		7.15	×	4.15	=	29.678	D リサイクルハウス		床面積に同じ			62.01	
	14	1.05	×	(15.718 + 15.266) / 2	=	16.791	D リサイクルハウス					E プロパン庫							
	15	6.45	×	15.718 / 2	=	50.69							床面積に同じ					16.95	
	C	0.5	×	13.725	=	6.862		13.0	×	4.77	=	62.01	F 駐輪場		床面積に同じ			12.6	
	D	2.95	×	6.6	=	19.47	E プロパン庫												
	E		×		=														
	F	0.5	×	10.95	=	5.475		6.65	×	2.55	=	16.958							
	G	1.05	×	(12.784 + 13.332) / 2	=	13.71	F 駐輪場												
	H	3.0	×	(20.482 + 22.048) / 2	=	63.795													
	I	3.45	×	5.189	=	17.902		6.0	×	2.1	=	12.6							
	J	2.129	×	5.189 / 2	=	5.523	合計					3122.66	合計						
1階 計					2322.239										2615.63				



1階 求積図 1/200



2階 求積図 1/200



附属棟 求積図

面積表 (補助対象用)

延床面積				
A 給食センター				
1階	1	0.55	×	5.825
	2	0.55	×	7.875
	3	0.85	×	15.825
	4	3.0	×	29.55
	5	0.55	×	6.4
	6	9.8	×	10.2
	7	10.35	×	0.2
	8	51.0	×	35.8
	9	27.977	×	5.6
	10	2.915	×	0.2
	11	10.35	×	0.2
	12	0.5	×	18.1
	13	1.55	×	6.95
	14	1.05	×	(15.718 + 16.266) / 2
	15	6.45	×	15.718 / 2
	1階計			2169.508
2階	21	4.4	×	15.825
	22	10.05	×	29.5
	23	2.725	×	(2.725 + 0.6) / 2
	24	2.0	×	(16.95 + 20.95) / 2
	25	16.992	×	6.0
	26	10.033	×	0.4
	2階計			522.775
	合計			2712.27

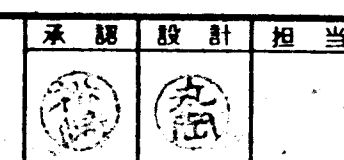
建築面積				
A 給食センター				
	A	2.2	×	5.125
	B	0.55	×	2.325
	C	0.5	×	13.725
	D	2.95	×	6.6
	E			
	F	0.5	×	10.95
	G	1.05	×	(12.784 + 13.332) / 2
	H	3.0	×	(20.482 + 22.048) / 2
	I	3.45	×	5.189
	J	2.125	×	5.189 / 2
	1階床面積計			2169.502
	計			2334.798
B 車庫 倉庫棟				
		2.5	×	7.5
		15.7	×	8.77
	計			156.458
C 排水処理槽 機械室				
		7.15	×	4.15
				29.678
D リサイクルハウス				
		13.0	×	4.77
				62.01
E プロパン庫				
		6.65	×	2.55
				16.958
F 駐輪場				
		6.0	×	2.1
				12.6
	総合計			2969.93

面積表 (補助対象用)				
延床面積				
A 給食センター				
1階	1	0.55	×	5.825
	2	0.55	×	7.875
	3	0.85	×	15.825
	4	3.0	×	29.55
	5	0.55	×	6.4
	6	9.8	×	10.2
	7	10.35	×	0.2
	8	51.0	×	35.8
	9	27.977	×	5.6
	10	2.915	×	0.2
	11	10.35	×	0.2
	12	0.5	×	18.1
	13	1.55	×	6.95
	14	1.05	×	(15.718 + 16.266) / 2
	15	6.45	×	15.718 / 2
	1階計			2169.508
2階	21	4.4	×	15.825
	22	10.05	×	29.5
	23	2.725	×	(2.725 + 0.6) / 2
	24	2.0	×	(16.95 + 20.95) / 2
	25	16.992	×	6.0
	26	10.033	×	0.4
	2階計			522.775
	合計			2712.27
建築面積				
A 給食センター				
	A	2.2	×	5.125
	B	0.55	×	2.325
	C	0.5	×	13.725
	D	2.95	×	6.6
	E			
	F	0.5	×	10.95
	G	1.05	×	(12.784 + 13.332) / 2
	H	3.0	×	(20.482 + 22.048) / 2
	I	3.45	×	5.189
	J	2.125	×	5.189 / 2
	1階床面積計			2169.502
	計			2334.798
B 車庫 倉庫棟				
		2.5	×	7.5
		15.7	×	8.77
	計			156.458
C 排水処理槽 機械室				
		7.15	×	4.15
				29.678
D リサイクルハウス				
		13.0	×	4.77
				62.01
E プロパン庫				
		6.65	×	2.55
				16.958
F 駐輪場				
		6.0	×	2.1
				12.6
	総合計			2969.93

有限会社 アーキプランニング

一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-66362号

一級建築士登録第81039号 松崎 誠 彦



縮尺 1/200
設計年月日

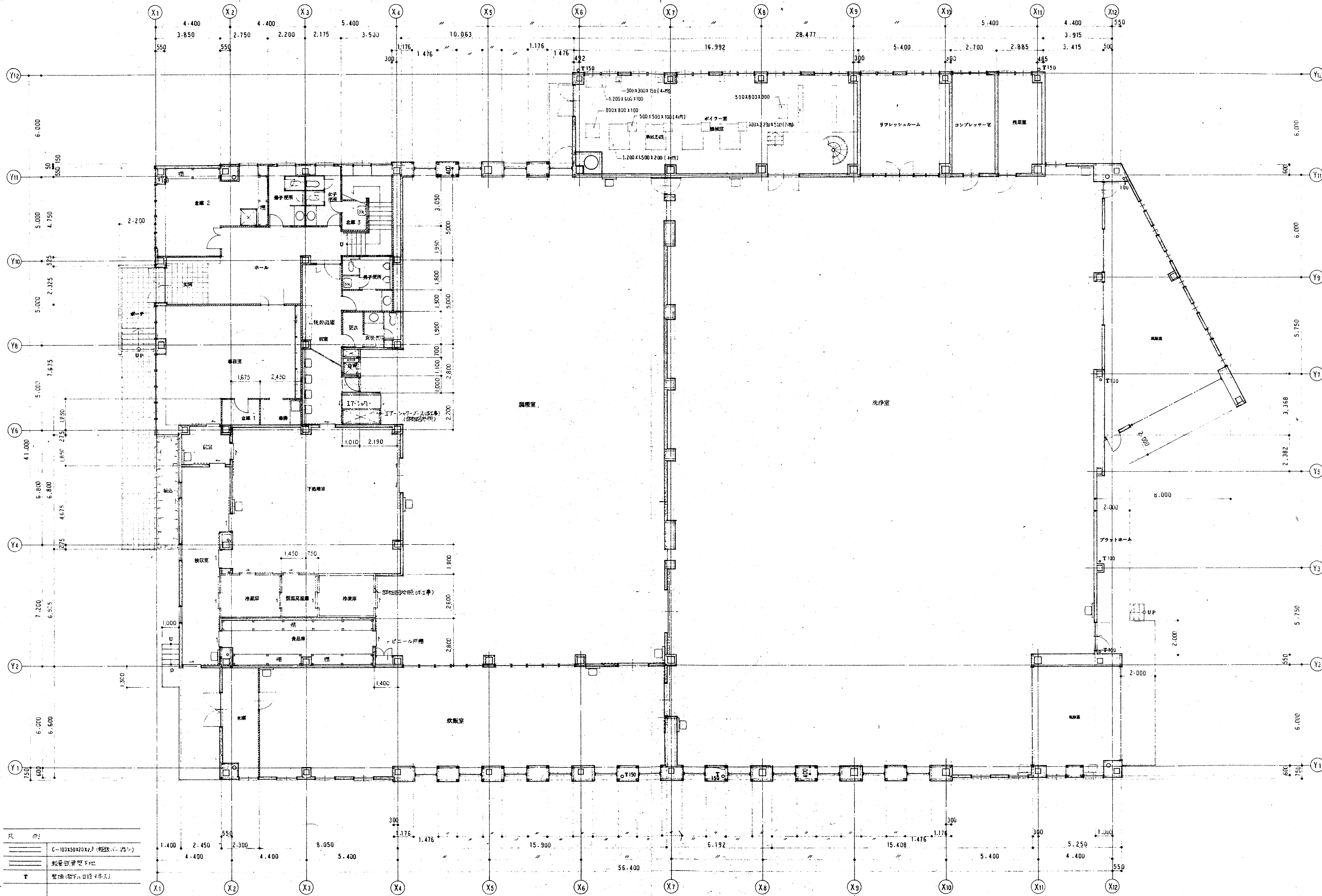
工事名称 古賀町学校給食共同調理場新築工事

図面名称 面積表 (補助対象用)

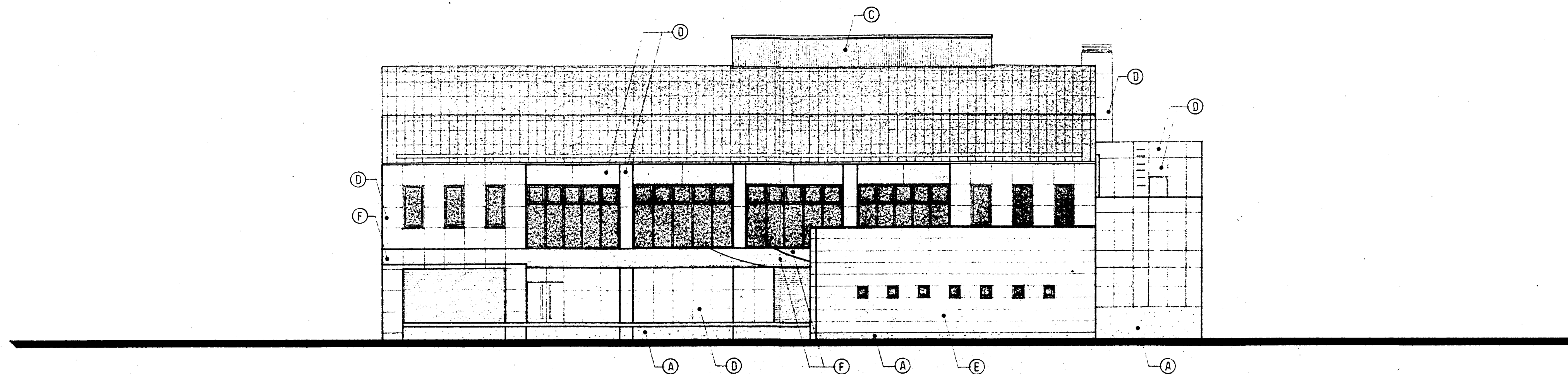
意匠

No. 4

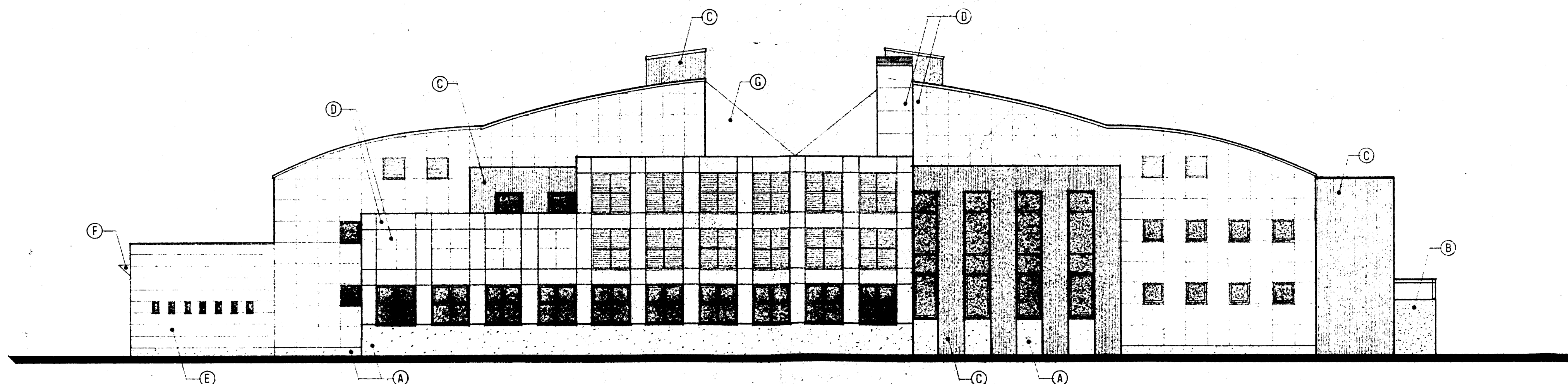
[illegible]



凡例	
○	C-100X50X20X2.3 (軽鉄バーボルト)
□	軽量コンクリート下地
■	壁面 (断熱材付)



北立面図 1/150



西立面図 1/150

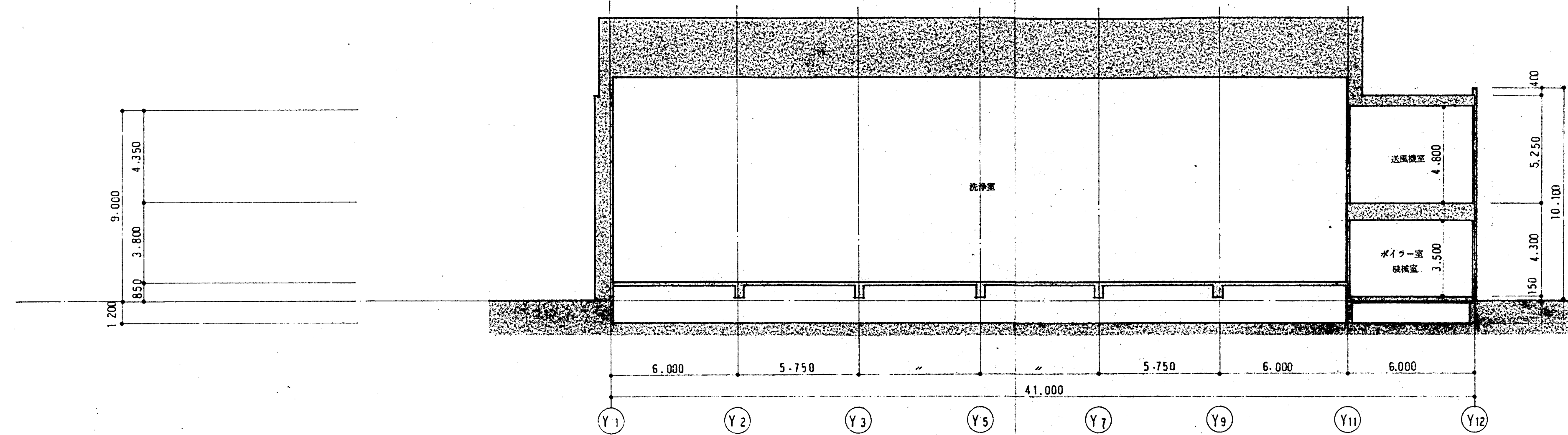
有限会社 アーキプランニング
一級建築士事務所 東京都知事登録第1-66352号
一級建築士登録第61039号 松崎 威彦

承認 設計 担当
[Seal] [Seal] [Seal]

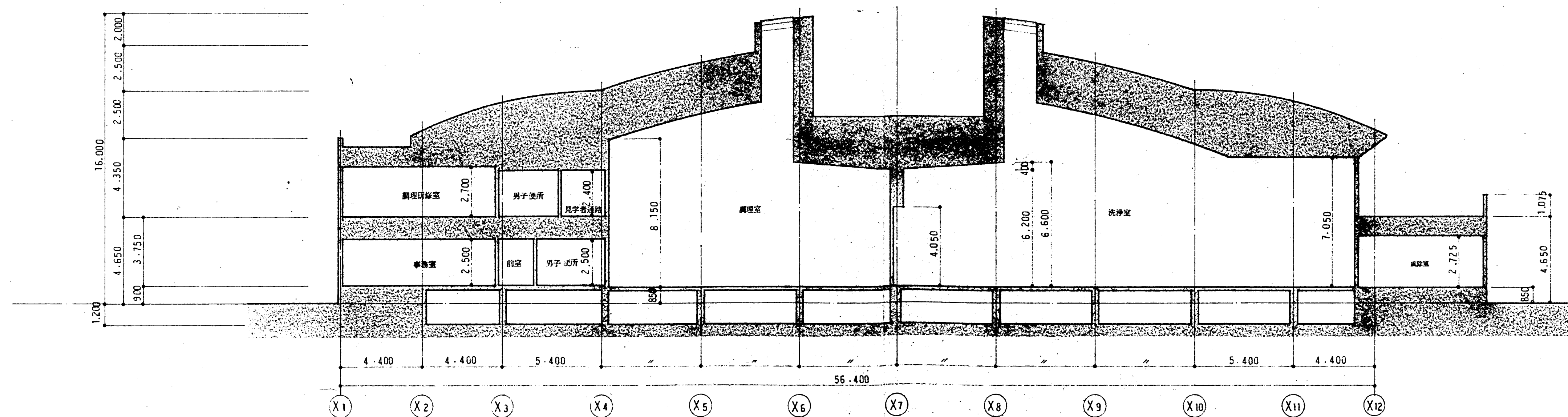
縮尺 1/150
設計年月日

工事名称 古賀町学校給食共同調理場新築工事
図面名称 立面図(2)

志匠
No. 12




断面図 (1) 1/150



断面図 (2) 1/150

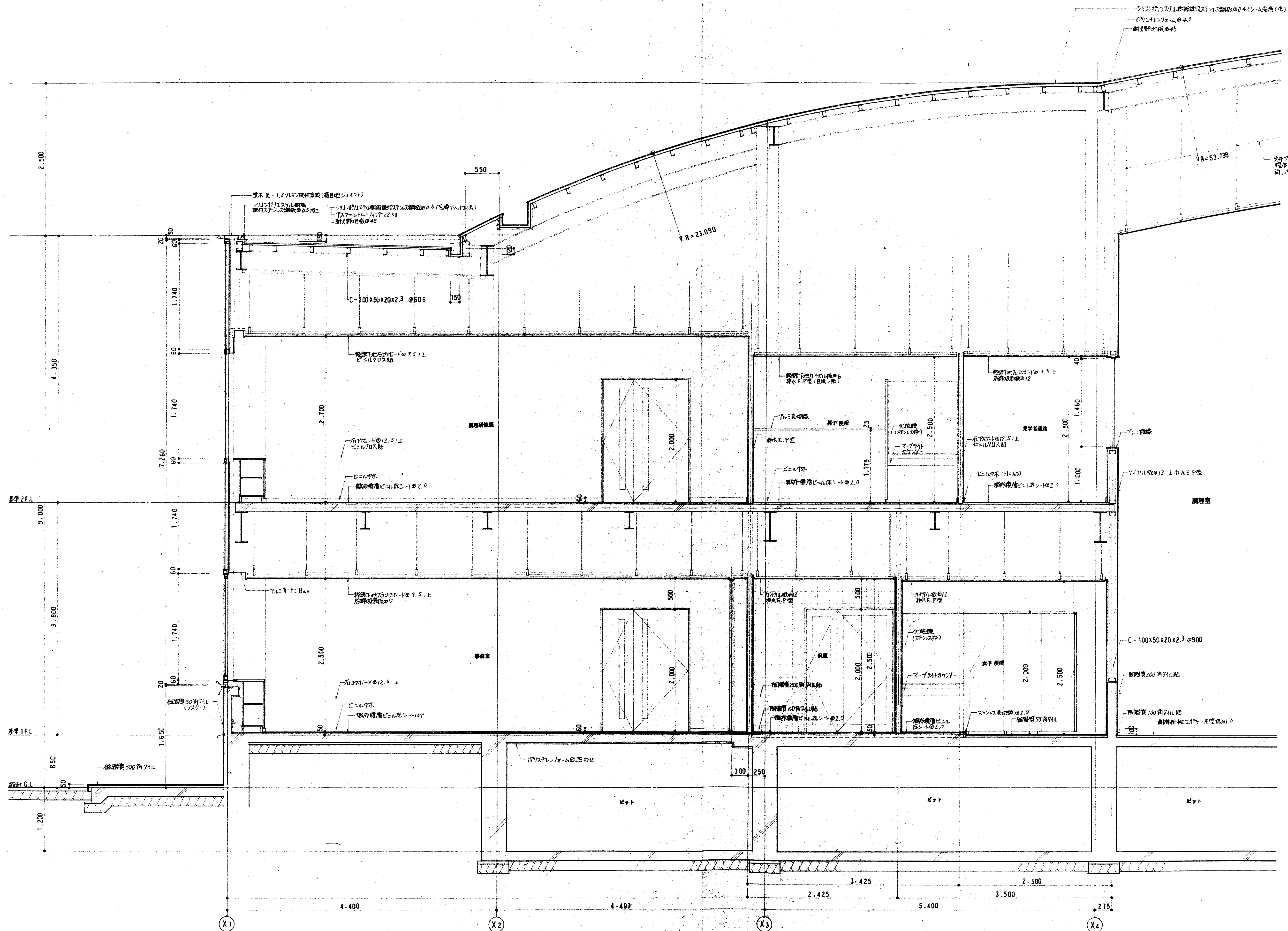
有限会社 アーキプランニング
 一般建築士事務所 岡山県知事登録第1-66352号
 一般建築士登録第81039号 松崎 威彦

承認 設計 担当


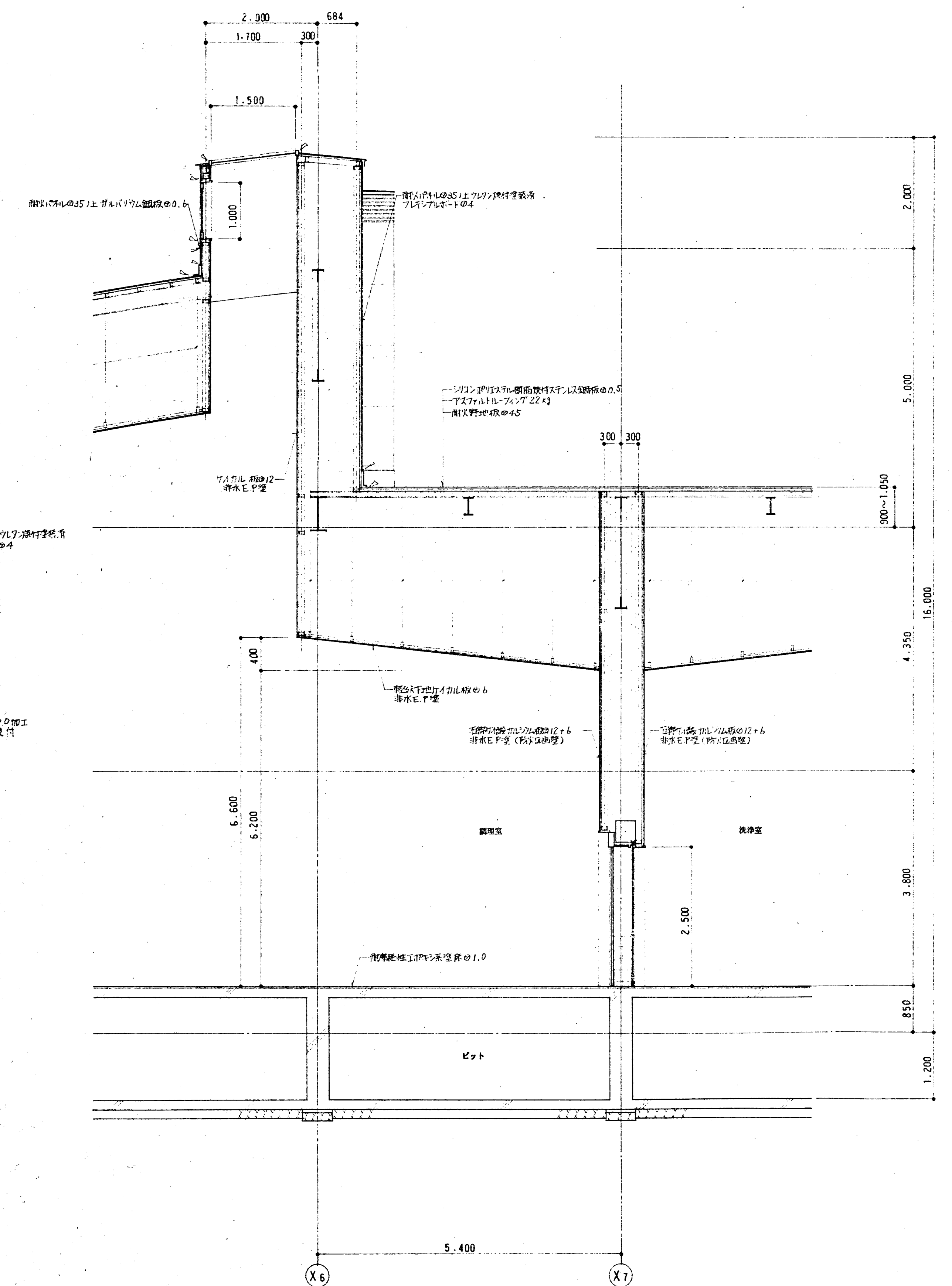
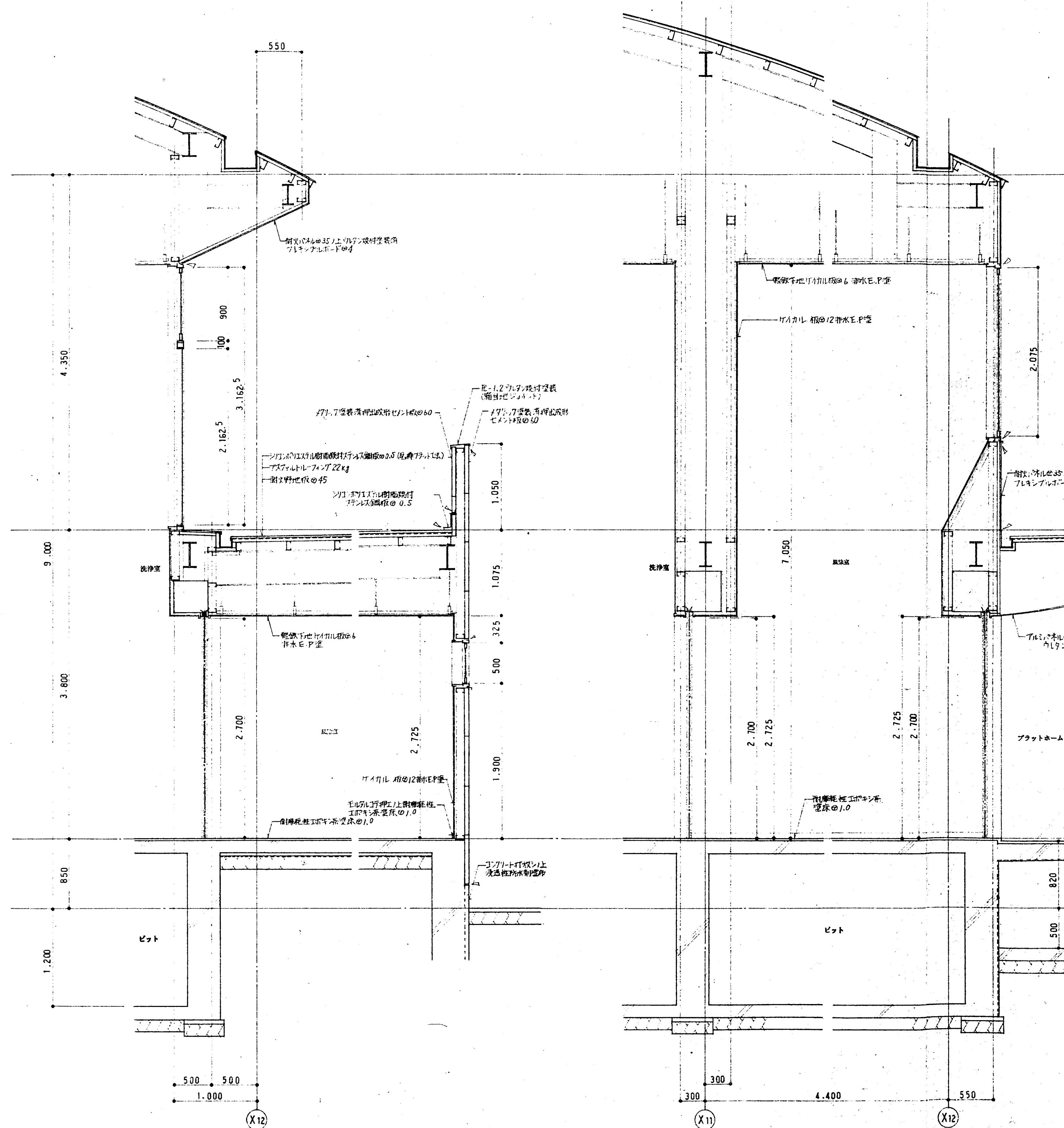
縮尺 1/150
 設計年月日

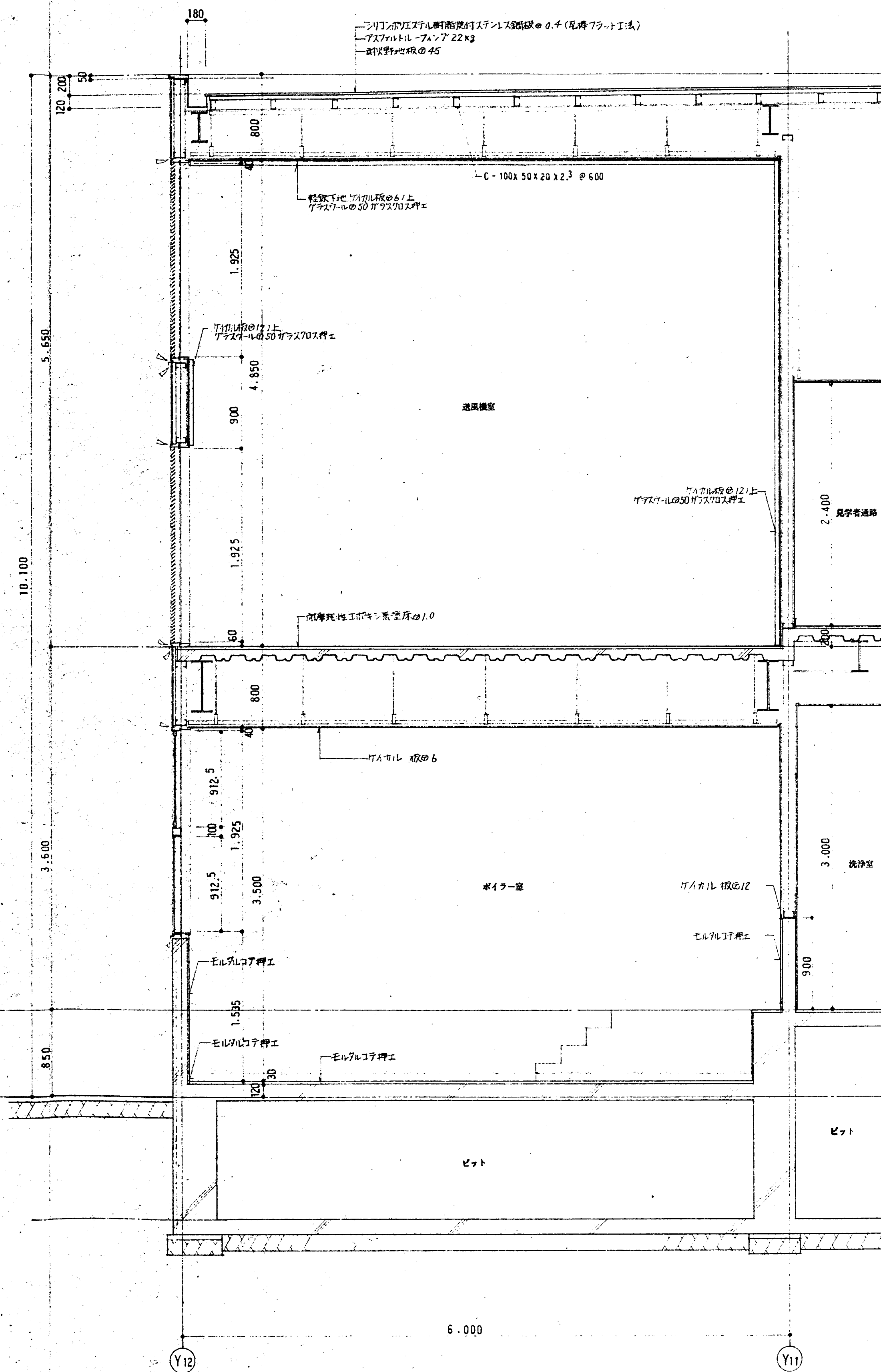
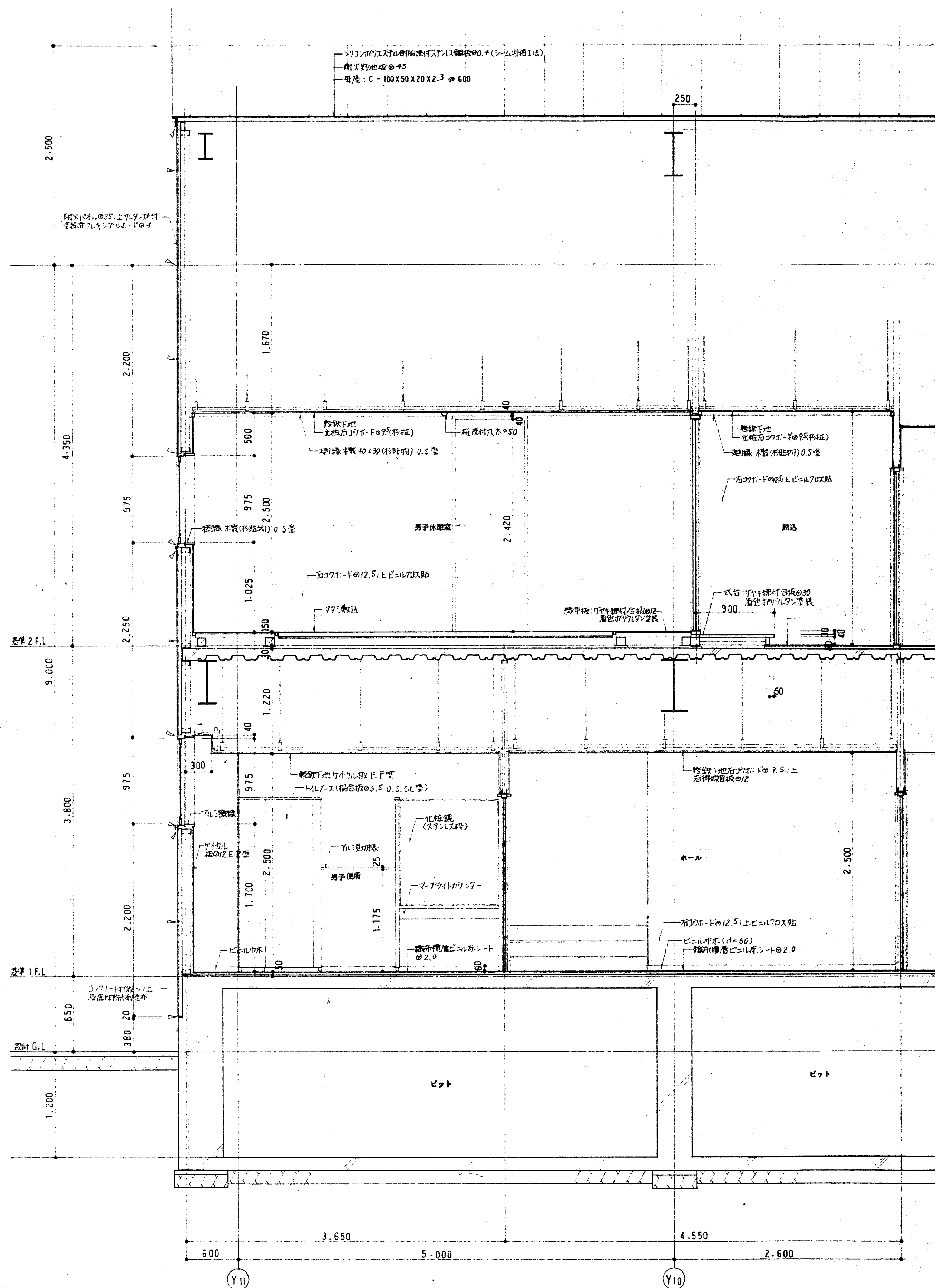
工事名称 古賀町学校給食共同調理場新築工事
 図面名称 断面図

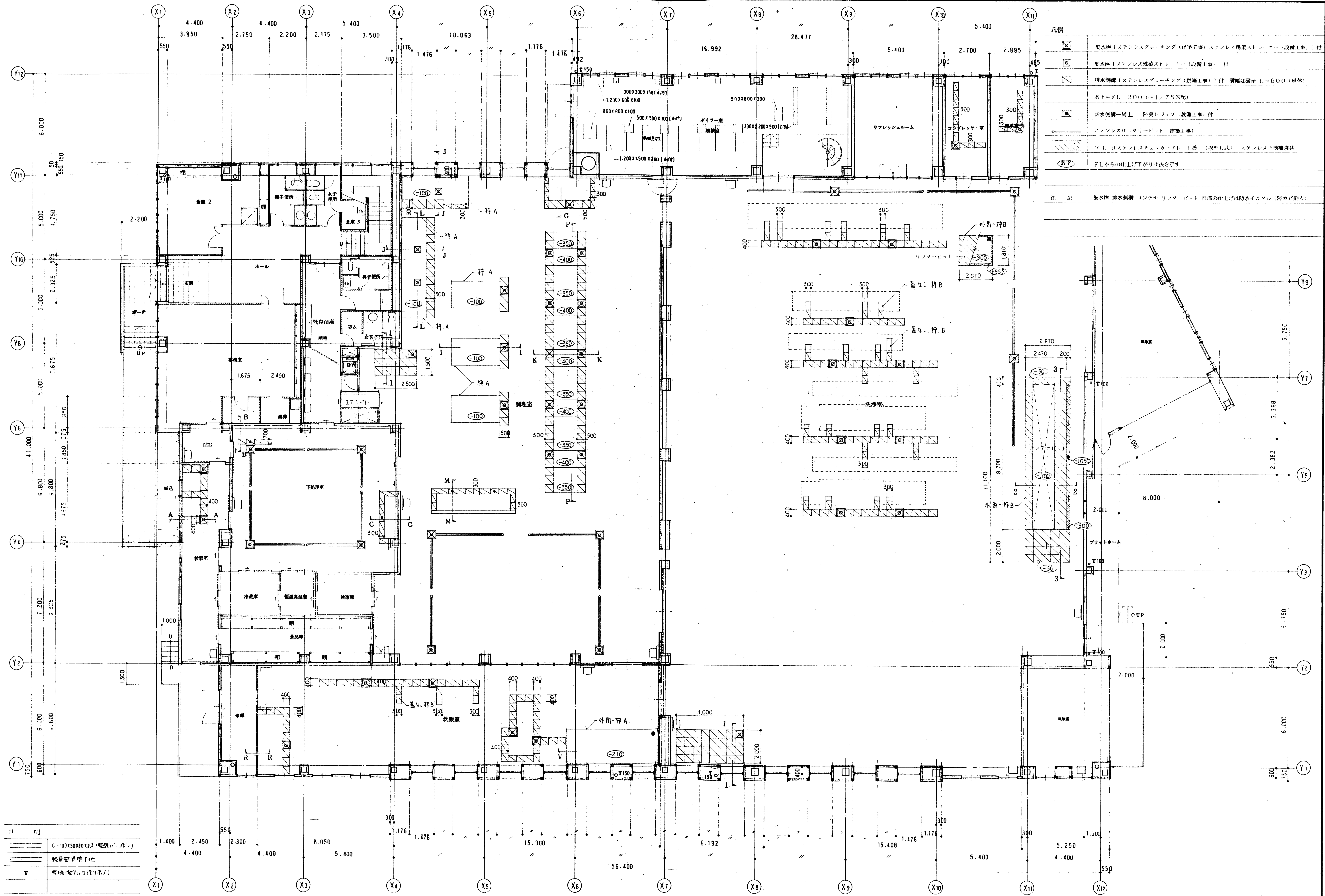
意匠 No. 13



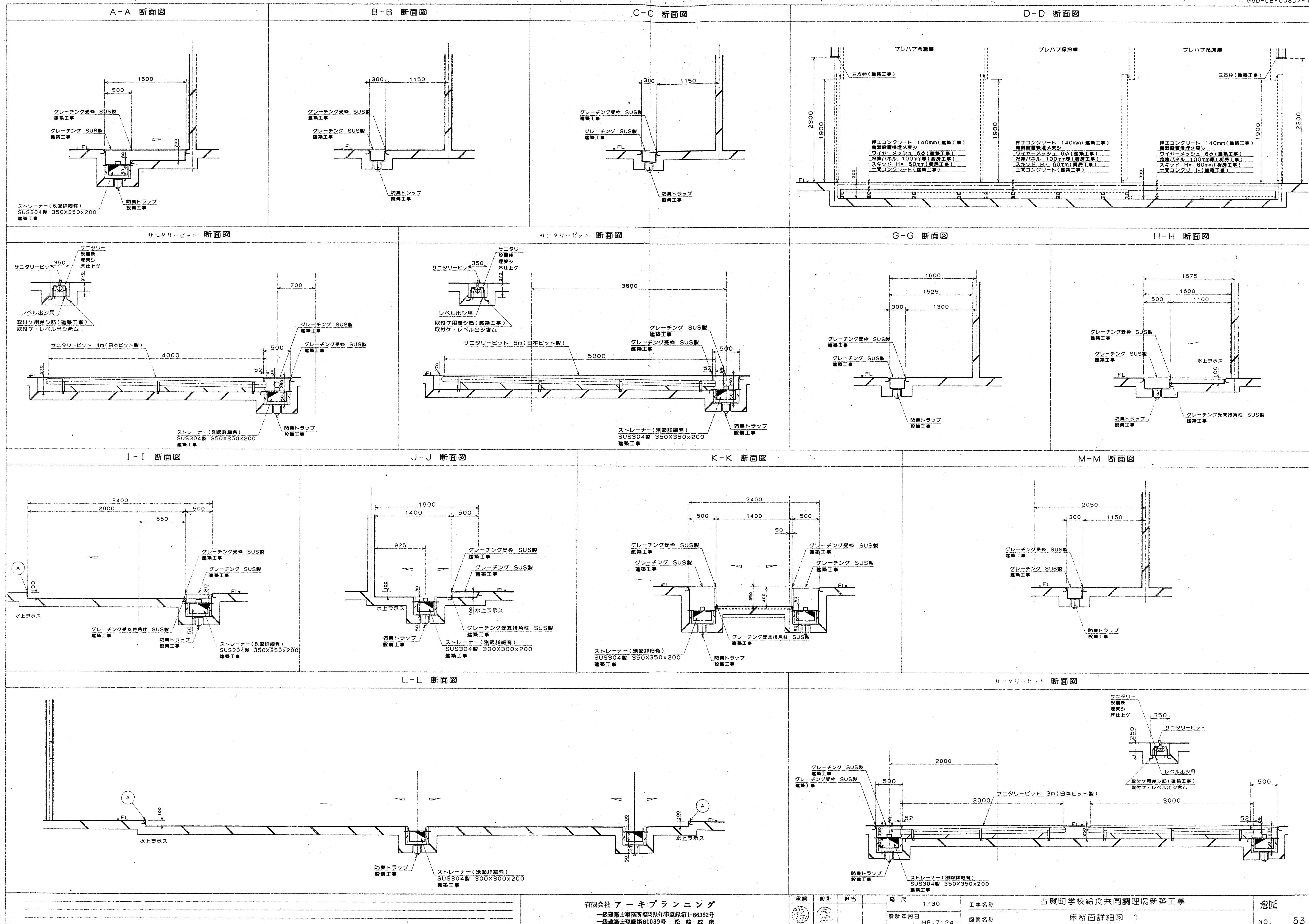
天板下1.500以上の場合、換気間隔1.800程度に丸鋼を添えて市販の取手の種類(金物)を行う。同、換気箇所は補止の処理を行う。



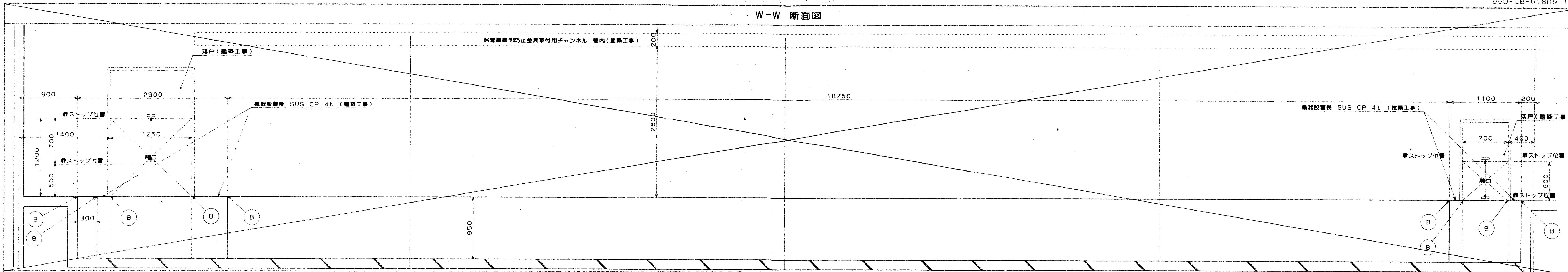




材	記
○	C-100X50X20X2.3 (軽鋼材 角形)
□	軽量コンクリート
■	壁・床 (厚さ 100mm)



W-W 断面図



① - ① 断面図

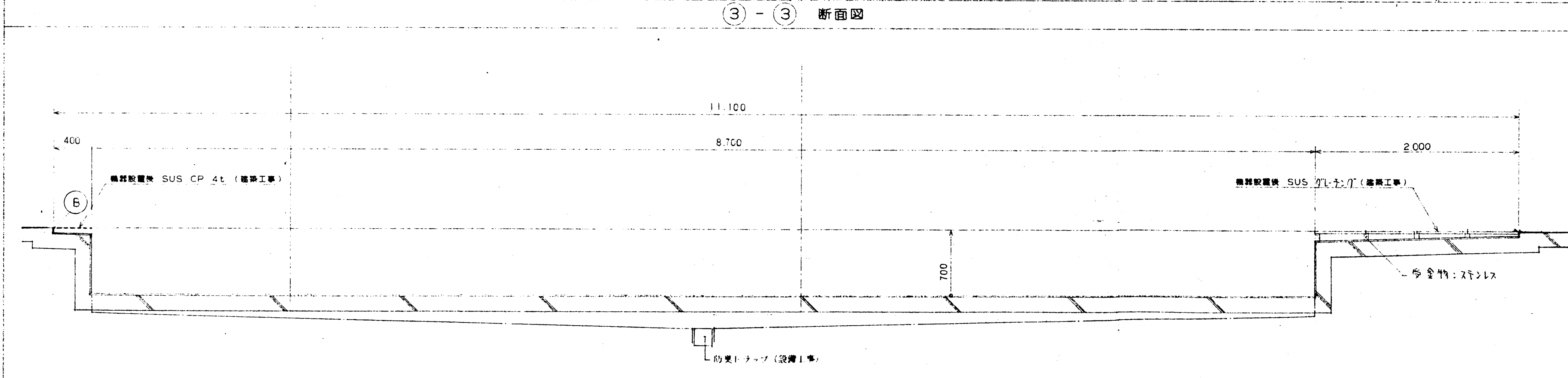
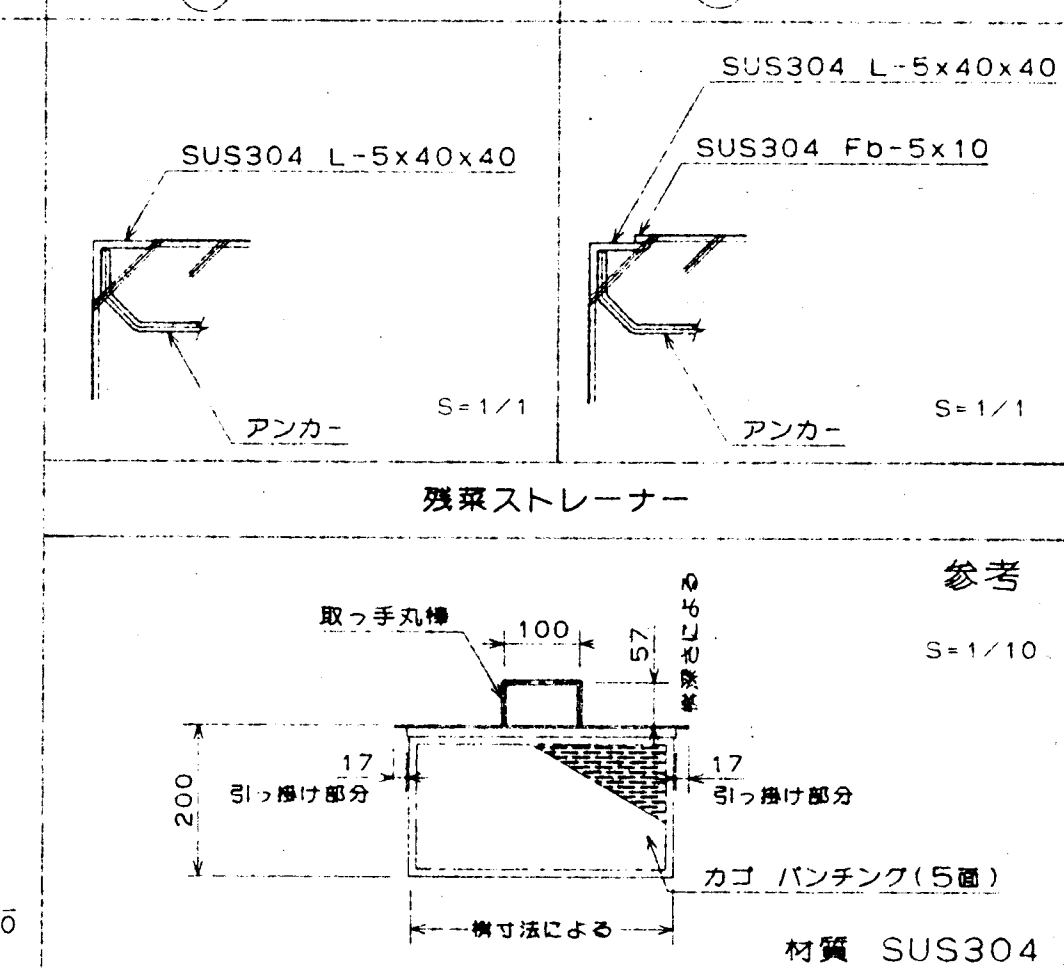
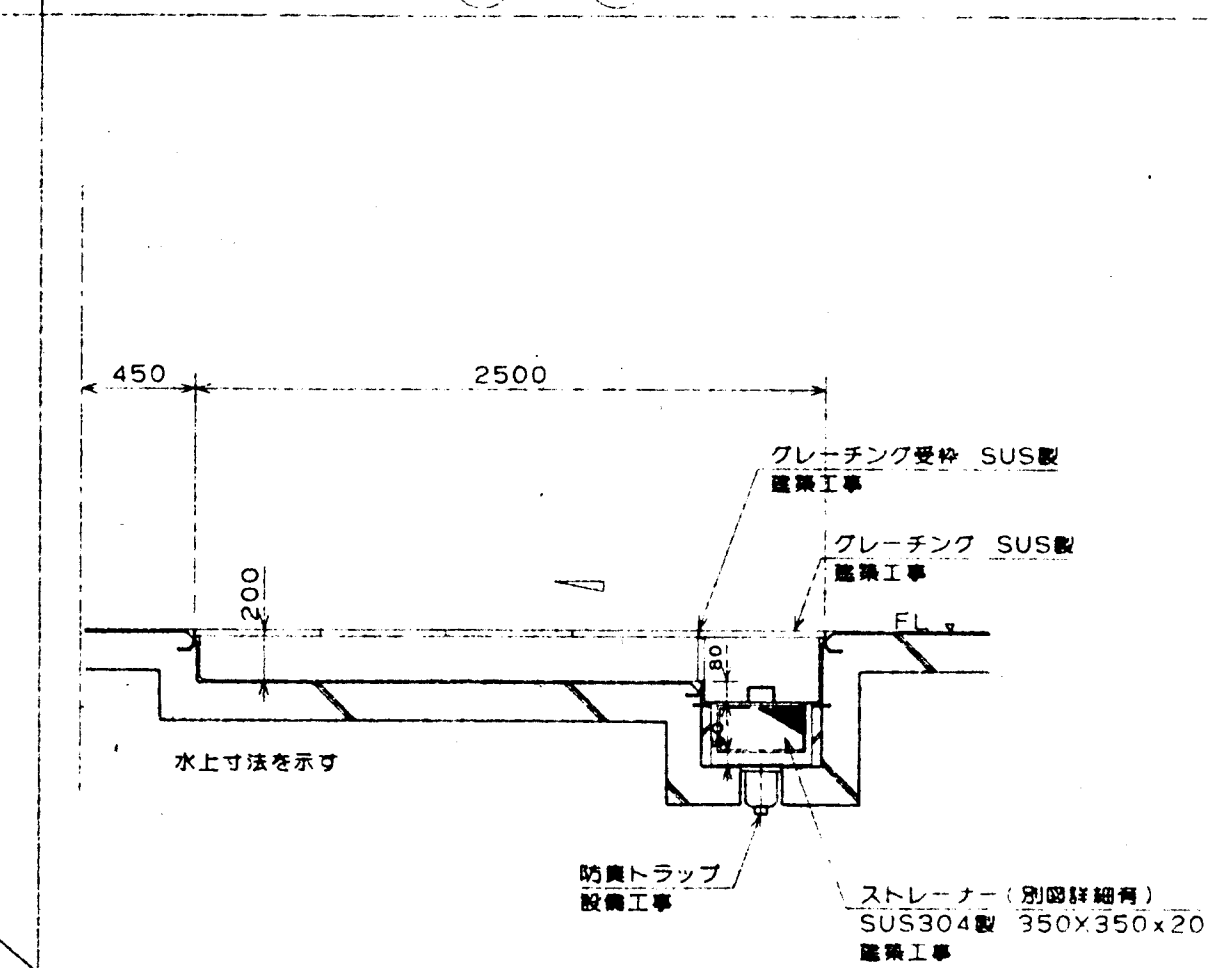
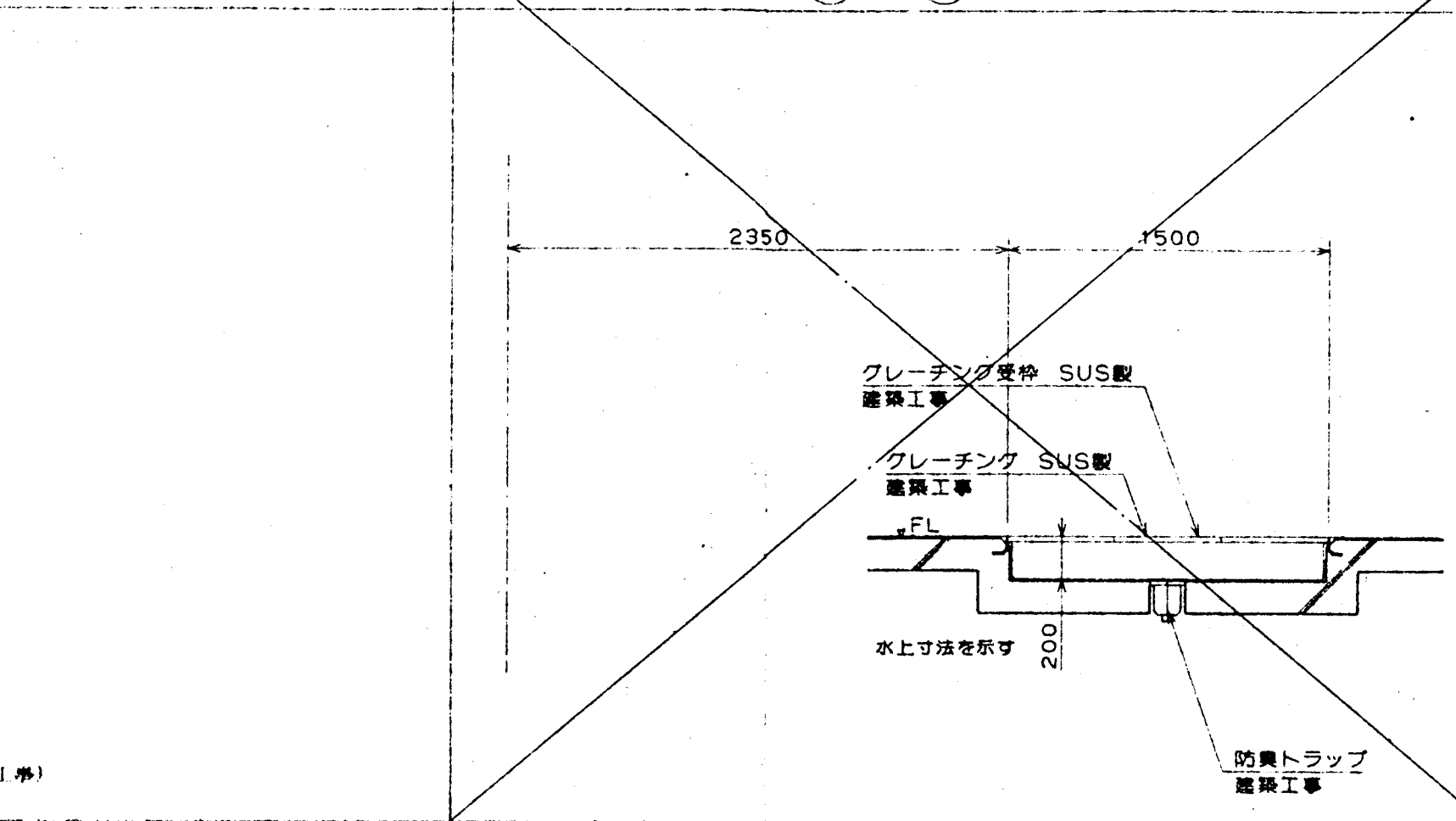
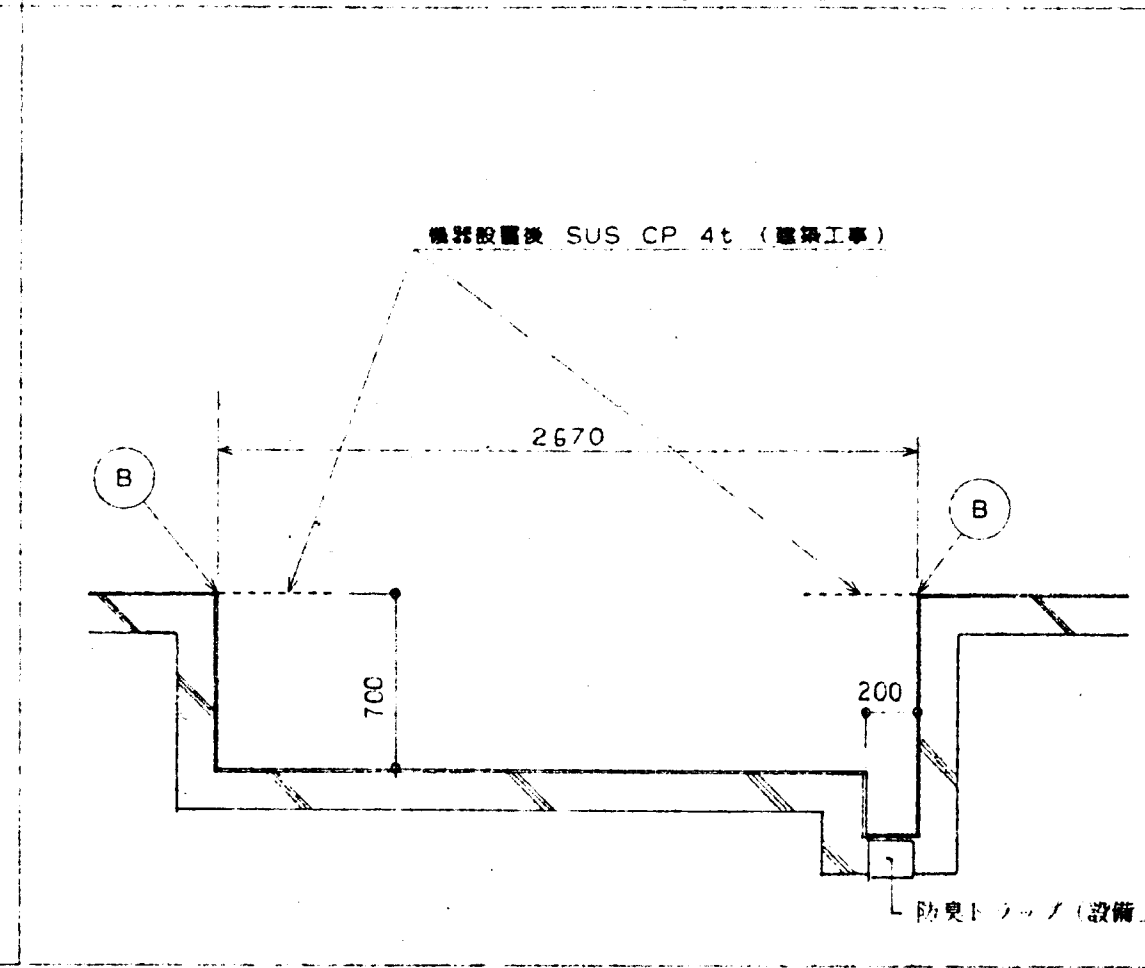
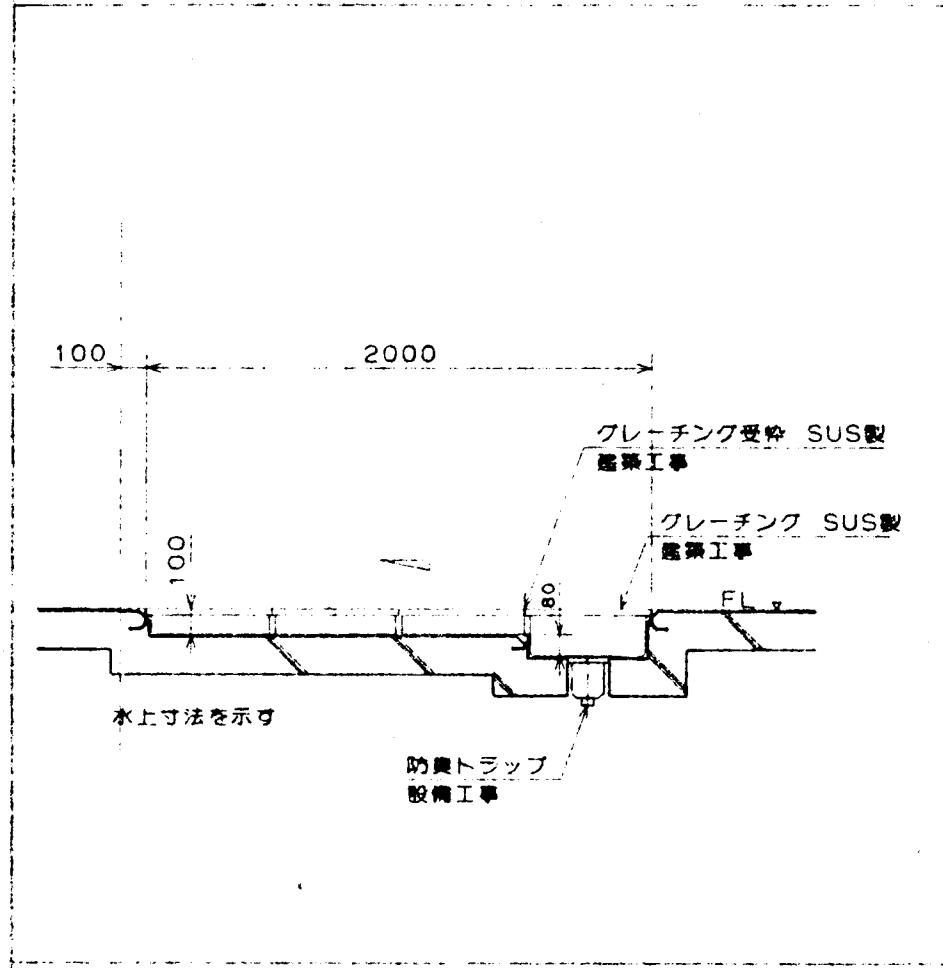
② - ② 断面図

④ - ④ 断面図

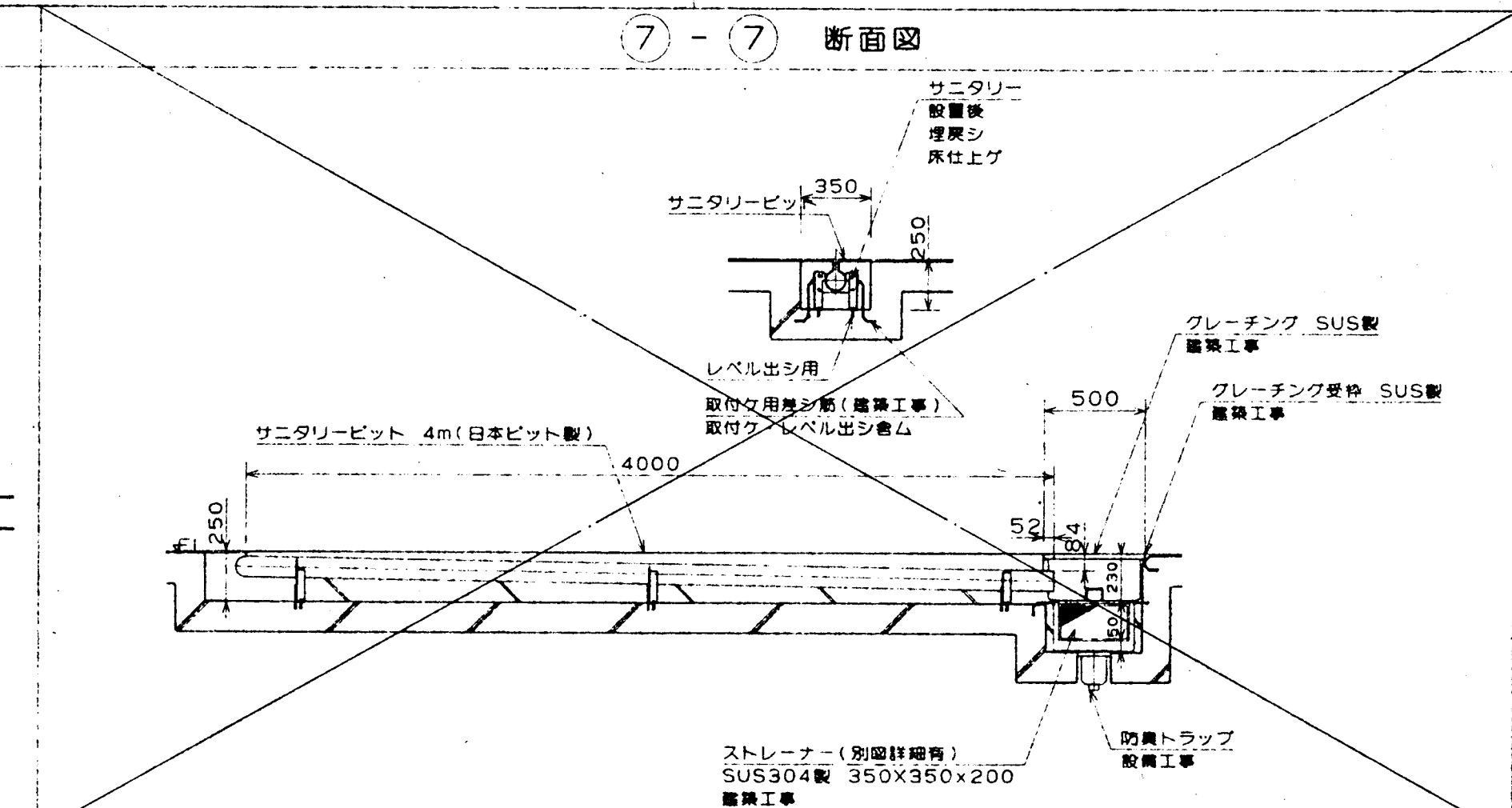
⑤ - ⑤ 断面図

(A) 断面詳細図

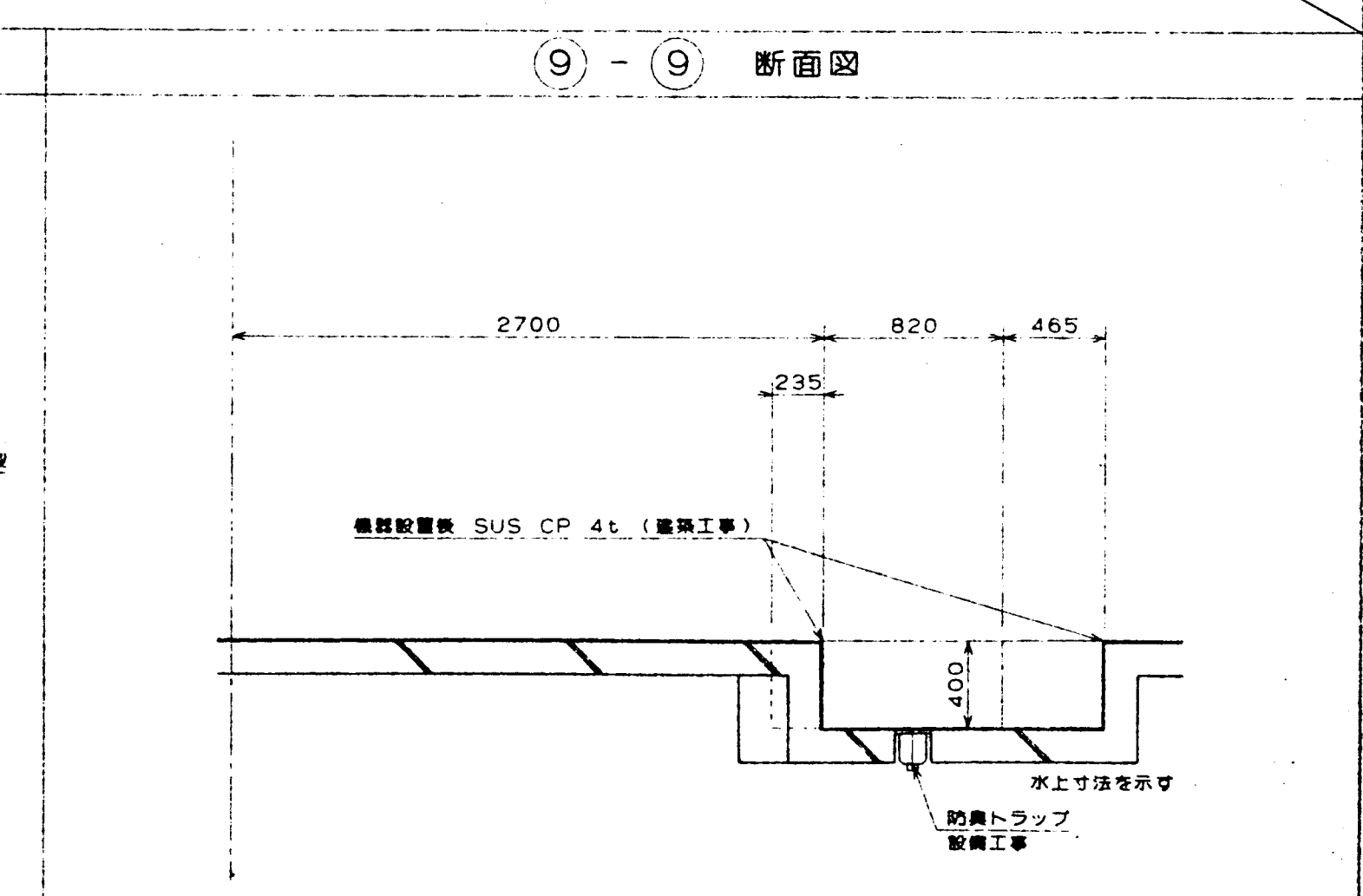
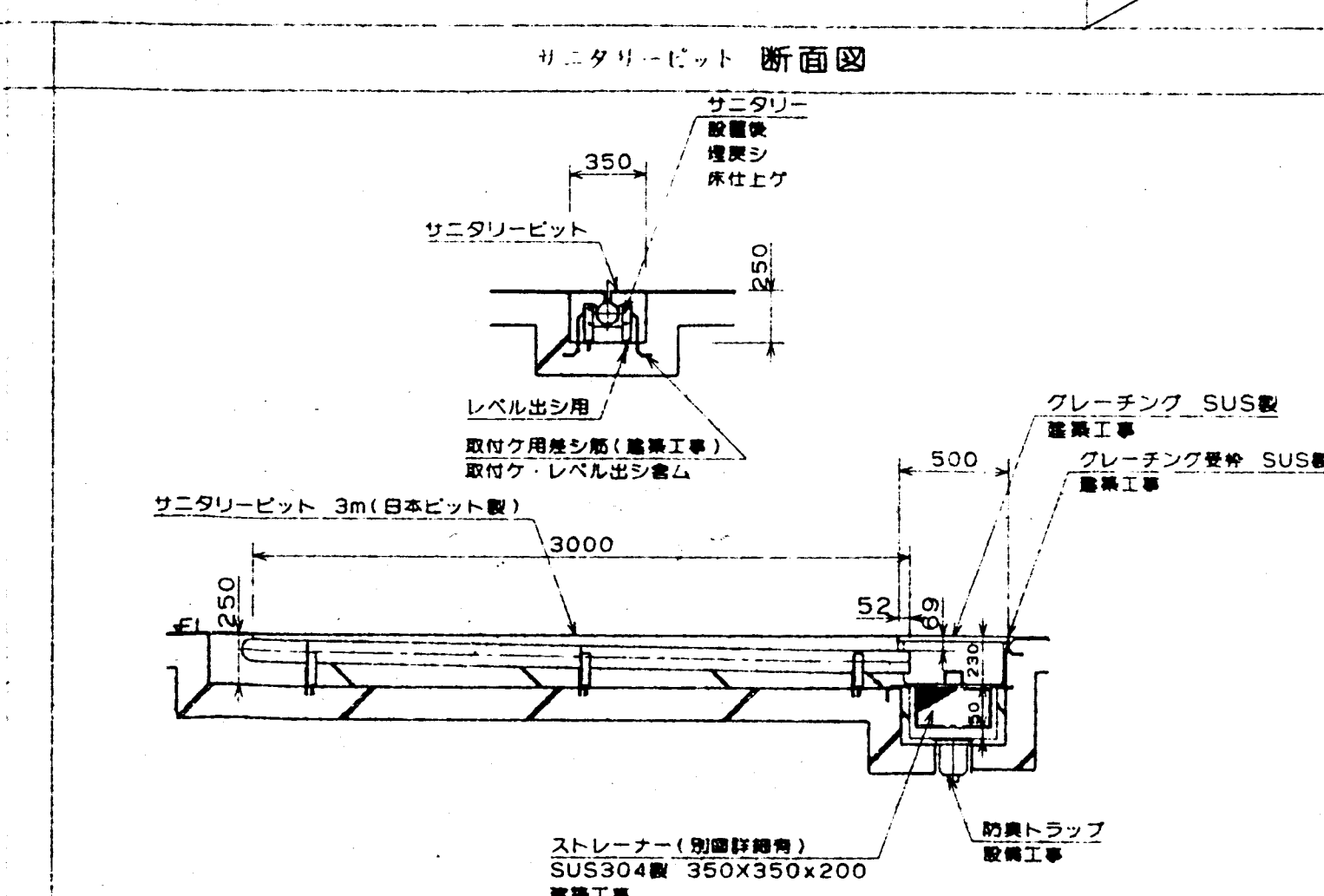
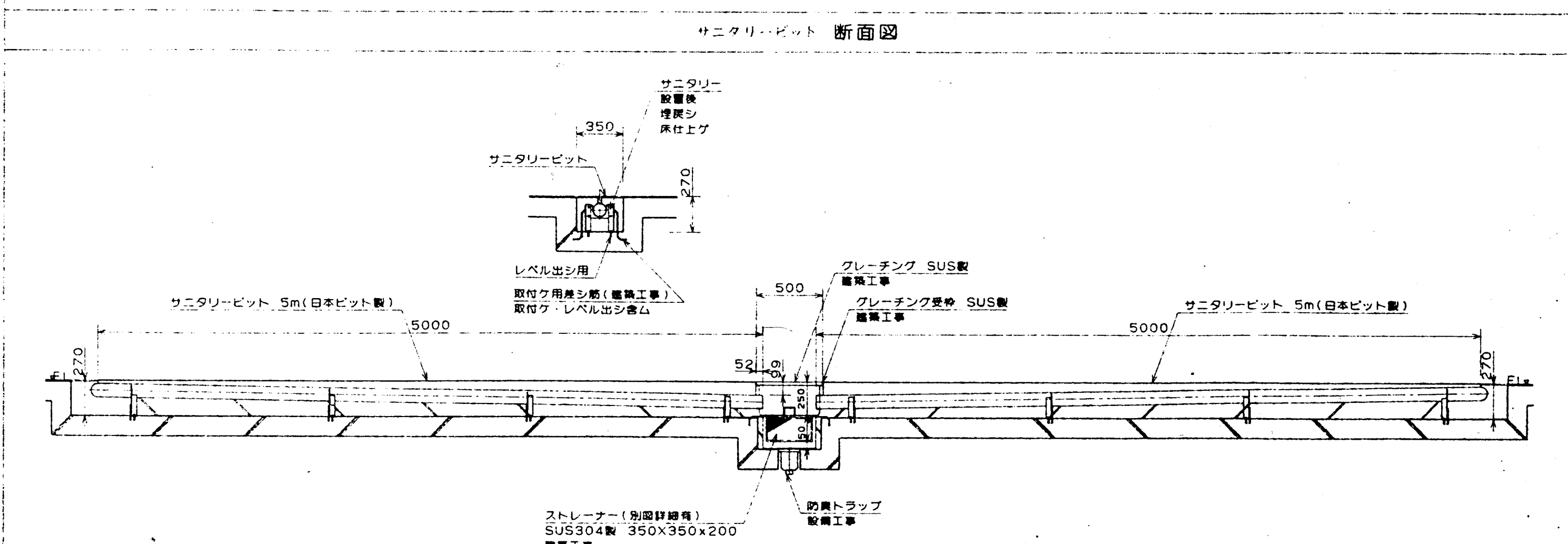
(B) 断面詳細図



③ - ③ 断面図



⑦ - ⑦ 断面図



⑨ - ⑨ 断面図

構 造 概 要												
1. 一般事項			3. 鉄筋コンクリート工事				4. 鉄骨工事			5. 地質柱状図		
1.1 建物概要			3.1 コンクリート				4.1 鋼材			調査位置図 別図参照		
工事名称	古賀町学校給食センター 新築工事		種 別	使用区分	呼び強度 (N/㎡)	備 考	材 質	部 位	備 考			
建設予定地	福岡県粕屋郡古賀町大字庭内字南原		普通	基礎、地中梁	21	スランブ=15 JIS規格品	SS400	梁、プレート				
建物用途	事務室・給食調理室		普通	1階床	21	スランブ=18 JIS規格品	STKR400	柱				
面 積	建築面積	㎡	普通	デッキプレート床	18	スランブ=18 JIS規格品	SN400A		JIS規格品			
階 数	地上 2 階	地下 階	普通	土間コンクリート	18	スランブ=15 JIS規格品	SN490B		JIS規格品			
高 さ	軒高	m					SSC400	胴縁、雑				
構造種別	鉄 骨 造											
1.2 適用図書			註：コンクリートの品質はJISA5308、骨材の品質はJISA5005、 混和材はJISA6204によるAE減水剤とする。 スパン9m以上の梁は支保工の在置期間を4週間とする。				註：SM材の溶接継目強度は母材としているので鉄骨加工業者は 建設省住指発344号に適合する業者とする 鉄骨加工業者は下記業者同等以上とする。 ・川重鉄構工事㈱ ・関徳田鉄工所 ・例片山鉄骨					
1 当工事設計図			3.2 鉄 筋				4.2 接 合 材			調査地点 調査 年 月 日 標 高 孔内水位 GL- m N 値折線 10 20 30 40 50 基礎形状		
2 日本建築学会・建築工事標準仕様書 規準および指針			材 質	鉄 筋 径		備 考	名 称	材 質	径			
3 建設大臣官房官庁営繕部監修「建築工事共通仕様書」に依る。			SD295A	D10~D16		JIS規格品	HTB	F10T	M16~M20			
			SD345	D19~D25		JIS規格品	中ボルト	SS400	M12			
							アンカーボルト	SS400	M16~M20			
2. 地 業 工 事			註： 鉄筋略記号 ・ D10 ♂ D29 × D13 ♂ D16 ・ D19 ○ D22 ◎ D25				註：高力ボルト摩擦面のすべり係数値は0.45以上とする。			別 図 参 照		
2.1 割 栗 地 業												
敷砂利使用範囲			基礎下・地中梁下							別 図 参 照		
敷砂利厚さ			t=50									
捨コンクリート呼び強度			18 N/㎡ スランブ=15							別 図 参 照		
捨コンクリート厚さ			t=50									
無筋コンクリート基礎呼び強度			18 N/㎡ スランブ=15							別 図 参 照		
(ラップルコン)												
2.2 設計地盤支持力										別 図 参 照		
設計地盤許容支持力			t/㎡									
支持地盤の深さ			GL- m 土質：							別 図 参 照		
2.3 既 製 杭			3.3 鉄筋の継手				4.3 防 錆 塗 装			別 図 参 照		
杭長及び先端位置は地盤状況、杭打試験、載荷試験により変更することがある			継手形式	鉄 筋 径		備 考	素地調整	◎2種 ・1種B ・1種A	別 図 参 照			
工法：プレボーリングセメントミルク根固め拡底工法			重 ね	D10~D16			*下記の防錆塗装より選択	塗装回数				別 図 参 照
杭種：PHC杭 (A種)			圧 接	D19~D25			防錆塗装	適 用	工 場	工事現場		
先端形状 閉鎖型 継手 ケ所			溶 接				JISK5622 (鉛丹錆止めペイント)	○	・1回 ◎2回 ◎タッチUP1回	・1回 ・2回		
杭径：φ350			スリーブ				JISK5623 (亜酸化鉛錆止めペイント)	○				
杭長 L=9.0~14.0m (基礎伏図による)							JISK5624 (塩基性クロム酸鉛錆止めペイント)	○				
杭支持力 Ra= 50t/本							JISK5625 (シアナミド鉛錆止めペイント)	○				
杭の支持力試験							JISK5621 (一般用錆止めペイント)					
杭打試験は原則として行い、図示又は係員の指示に従う。 *杭長の決定は、現地堀削後支持層を確認し、長さを決定する。							JISK5627 (ジソクロメート錆止めペイント)					
							JISK5629 (鉛酸カルシウム錆止めペイント)		別 図 参 照			
							註：素地調整の工程は日本建築学会「鉄骨工事技術指針・同解説」による。					
2.4 場所打コンクリート杭			3.4 プレストレスト工事				4.4 現場継手形式			別 図 参 照		
工法			プロストレスト導入方式及び工法：構造設計図による				継手形式	大梁継手部				
コンクリートの呼び強度 N/㎡			コンクリート：3.1項による				フランジ	ウェブ	フランジ	ウェブ		
鉄筋の材質 主筋 SD345 帯筋 SD295A			PC鋼材：構造設計図による				高力ボルト接合	○	○			
杭径			シース・定着装置などの材料：構造設計図による				溶 接 接 合					
杭長 L= m 杭の先端位置 GL- m												
杭支持力 Ra= t/本												
2.5 試験 検査			3.5 試験 検査				4.5 試験 検査			別 図 参 照		
項 目	適 用	備 考	項 目	適 用	備 考	項 目	適 用	備 考				
平板載荷試験			スランブ、空気量 [荷卸、筒先]	○		材料試験 [鋼材、高力ボルト、スタッド]						
(杭載荷試験・試験杭)			気乾単位容積重量	○		溶接工技量試験 [工場、現場]						
			荷卸地点におけるレミコン品質検査及び強度試験	○		溶接部超音波探傷検査 [工場、現場]	○	自主 (100%) 第3者 (20%)				
						高力ボルト現場締付検査	○					
			鉄筋引張試験			スタッド溶接 [品質検査、製品検査、技量試験]						
			圧接工、技量試験			高力ボルトすべり試験						
			圧接部引張試験	○		鉄骨精度検査規準は管理許容差以内とする						
			圧接部超音波探傷検査			建方精度及びたわみの測定	○	建方完了時・HTB終了時				